

平成25年度

教育委員会事務点検評価報告書

(主要施策の成果に関する説明書)

平成26年9月

岩手県教育委員会

目 次

いわて県民計画第2期アクションプラン[政策編]の取組と成果	1
政策Ⅴ 教育・文化～「人材・文化芸術の宝庫いわて」の実現	5
政策項目No.24 家庭・地域との協働による学校経営の推進	7
政策項目No.25 児童生徒の学力向上	10
政策項目No.26 豊かな心を育む教育の推進	14
政策項目No.27 健やかな体を育む教育の推進	18
政策項目No.28 特別支援教育の充実	21
政策項目No.29 生涯を通じた学びの環境づくり	24
政策項目No.31 文化芸術の振興	26
政策項目No.33 豊かなスポーツライフの振興	30
政策項目No.38 安全で安心な暮らしを支える社会資本の整備	33

いわて県民計画

第2期アクションプラン[政策編]の 取組と成果

岩手県では、平成21年12月に、「いわて県民計画（長期ビジョン）」（計画期間：平成21年度～平成30年度）を策定し、平成24年1月にこの計画の第2期アクションプランとして、平成23年度～平成26年度の4年間を対象とした「いわて県民計画第2期アクションプラン[政策編]」を策定しました。

いわて県民計画第2期アクションプラン[政策編]は、「政策－施策－事業」の体系により計画を推進していくものであり、政策項目（政策）には「目指す姿指標」、目指す姿を達成するための具体的な推進方策（施策）には「具体的な推進方策指標」という数値目標を掲げています。

この報告書は、いわて県民計画第2期アクションプラン[政策編]で定めた目標がどれだけ達成できたかという視点で、教育委員会の平成25年度の事務事業の実績を評価したものであり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条に定める点検及び評価結果の報告書となるものです。

- ・ いわて県民計画第2期アクションプラン[政策編]の7つの政策のうち、V教育・文化について、また、42の政策項目のうち、教育委員会が所管する7つの政策項目（政策項目No. 24～No.29・No.33）及び他部局主管項目のうち、教育委員会関係部分（No. 31・No. 38）について掲載しています。（他部局に係る記載部分は網掛けとしています。）
- ・ 目指す姿指標と推進方策指標の平成25年度実績に基づく「達成度」の考え方は、次のとおりです。

達成度の区分	年度目標達成度	■達成度 平成25年度にどれくらい達成したかを示す割合 ■達成度の計算方法 $\frac{(\text{H25実績値} - \text{H22現状値})}{(\text{H25目標値} - \text{H22現状値})} \times 100$ ※ 例外的に、基準値よりも数値を下げることを目標とする指標は、次の計算式で算出 $\frac{(\text{H22現状値} - \text{H25実績値})}{(\text{H22現状値} - \text{H25目標値})} \times 100$
達成 (A)	100%以上	
概ね達成 (B)	80%以上100%未満	
やや遅れ (C)	60%以上80%未満	
遅れ (D)	60%未満	

- ・ 数値を下げることを目標とする指標には、指標名の前に「▼」を表示しています。
- ・ 数値を維持することを目標とする指標には、指標名の前に「★」を表示しています。
- ・ 指標によっては、実績値が確定していない、新設目標であり平成25年度目標値を設定できないなどの理由で、数値や達成度を「－」としている場合があります。

本書の見方

本書では、7つの政策とそれを構成する42の政策項目のうち、教育委員会が所管する政策V教育・文化と7政策項目及び他部局主管の政策項目で教育委員会が関係する2政策項目について、指標の達成状況や目指す姿の実現に向けた教育委員会の取組状況などの詳細情報を掲載しています。

○ 棒グラフの数字

平成26年度の目標に対する実績値から見た進捗割合を表示

【計算式】

- ・通常の指標 $(H25 \text{ 実績値} - H22 \text{ 現状値}) / (H26 \text{ 目標値} - H22 \text{ 現状値}) \times 100$
- ・マイナス指標 $(H22 \text{ 現状値} - H25 \text{ 実績値}) / (H22 \text{ 現状値} - H26 \text{ 目標値}) \times 100$
- ・維持指標等 $(H25 \text{ 実績値}) / (H23 \sim H26 \text{ 目標の合算値}) \times 100$

※ 震災を踏まえた目標設定とした場合など、この計算式によりがたい場合は、以下の計算式により算出しています。

$$(H25 \text{ 実績値}) / (H26 \text{ 目標値}) \times 100$$

平成26年度目標の達成に向けた状況

※ 棒グラフの見方は、4ページ参照。

H26目標

▼ 県立病院救急患者総数のうち当日帰宅措置患者の割合

0.0 25.0 50.0 75.0 100.0

▲ 71.4

18.0

▼ がん、脳血管疾患及び心疾患で死亡する男性の数(人口10万人当たり)

22.7

▼ 脳血管疾患及び心疾患で死亡する女性の数(人口10万人当たり)

7.7

◆ 合計特殊出生率

51.3

放課後児童クラブの設置数(累計)

133.3

「いわて子育て応援の店」協賛店舗数(累計)

39.0

企業に取組んでいる市町村数(累計)

70.0

◆ 元気な高齢者の割合

49.8

地域密着型サービス拠点数(累計)

88.2

認知症高齢者のグループホーム等利用者数

57.1

▼ 自殺者数(人口10万人当たり)

107.8

○ 指標名の「◆」

H22 現状値等を維持することを目標とする指標

○ 指標名の「▼」

H22 現状値より数値を下げることを目標とする指標(マイナス指標)

○ グラフ表示がないケース

実績値が目標に反して下回っている(マイナスになっている)ためグラフ表示できない指標

【未確定指標】

○ 病院勤務医師数(人口10万人当たり)

主な取組事項

○ 未確定指標

H25 実績値が確定していないなどの理由で達成度が未確定であり、グラフ表示できない指標

○ 主な取組事項

政策の目指す姿を達成するために取り組んだ主な内容を取りまとめて記載

■ 質の高い医療が受けられる体制の整備

救急患者の救命率の向上や後遺症の軽減などを目的として、救急医療体制の確立のためには、医師数の拡充が不可欠であることから、医師確保対策を最優先として取り組んでいます。また、救急医療の充実を図るため、救急隊員に対する研修や、救急医療に強い医療体制を構築するため、3病院の耐震化やDMAT(災害時派遣医療チーム)への医療資機材及び移動車両の配備に取り組ましました。また、在宅医療の体制構築に向けて、医師やケアマネジャーなどの多職種協働による在宅チーム医療を推進するため、地域の実情に合わせた研修を展開する地域リーダーの養成に取り組ましました。

■ 感染症対策の推進

新型インフルエンザ対策については、発生時に備えた対応についての研修・訓練を実施するとともに、インフルエンザ相談窓口を引き続き設置して感染拡大防止等に取り組ましました。また、肝炎対策についても、適切な肝炎治療を受けられるようにするため、肝炎ウイルス検査後のフォローアップや受診勧奨等の支援を地域において行う人材の養成に取り組ましました。

■ 生活習慣病予防等の推進

特定健診、がん検診の受診率向上を図るため、受診勧奨リーフレット等の作成・配布のほか、市町村や関係機関と先進的取組や対策の検討を行い受診環境の整備・向上に取り組むとともに、生活習慣病予防対策の普及を図るため、民間団体と連携した啓発活動や肥満防止や禁煙などの健康教室の実施などに取り組ましました。また、東日本大震災津波の被災者の健康の維持・増進を図るため、応急仮設住宅集会所等での健康・栄養相談、口腔ケア指導等のほか、被災市町村の健康支援活動への支援を行いました。

■ 若者が家庭や子育てに夢を持てる環境の整備

子育て中の若い親世代が安心して楽しく子育て期を過ごすことができるよう、県の子育て応援ホームページによる子育て支援情報の提供や、未婚男女の出会いの場の創出を支援しました。

○ 具体的な推進方策投入コスト

「みんなで目指す姿」の実現に向けて、平成 25 年度に県が実施した具体的な推進方策に係る投入コスト

○ 「事業数」「予算額」「決算額」

事業数：各推進方策を構成する事業数
予算額：平成 25 年度最終予算額
決算額：平成 25 年度決算額

※ 事業数、予算額及び決算額には、再掲事業は含みません。

○ 決算額の財源内訳

国 庫：国庫補助金等
その他：使用料及び手数料、財産収入等
県 債：県が発行する債券
一 般：一般財源

○ 政策名

「アクションプラン
[政策編]」に掲げる 7
つの政策

○ 政策項目名

7つの政策に掲げる 42
の政策項目

○ みんなで目指す姿

県民の皆さんとともに目指す政策項目の目標（H26 までに目指す状態を説明）

政策項目 No.

I 産業・雇用

政策項目No.2：食産業の振興

1 みんなで目指す姿

本県の特徴ある地域資源（食材や技術）を活用し、「安全・安心な食」を核として、1次産業から2次、3次産業までの緊密な連携により、新しいビジネス展開や販路開拓が活発に行われ、付加価値の高い総合産業として成長しています。
また、東日本大震災津波により被災した水産加工関連企業が復興し、域内で高い収益を生む産業として沿岸地域の経済活動を支えています。

2 政策項目の状況

○投入コスト

具体的な推進方策	事業数	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額の財源内訳			
				国庫	その他	県債	一般
(1) 中核企業等の重点密着支援	2	10,518	9,197	0	0	0	9,197
(2) 食産業人材の発掘、育成	2	193,054	184,939	0	184,939	0	0
(3) FCPによる総合協働体制の構築	1	12,260	11,832	0	0	0	11,832
(4) 水産加工業の復興支援	2	68,948,855	25,939,753	16,749,817	6,876,938	0	2,312,998

※ 再掲事業の予算額等は除いて集計しています。

○目指す姿指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H24)	実績値 (H24)	達成度	(H23)
2 食料品製造出荷額	億円	㉑ 3,594	㉕ 3,426	㉓ 2,874	(速報値) ㉗ 2,583	B	A
3 水産加工品製造出荷額	億円	㉑ 741	㉕ 467	㉓ 36	-	-	B

- 食料品製造出荷額の達成度は【B】となりました。
- 水産加工品製造出荷額は、統計結果が未公表のため実績値が算出できませんでした。
- 推進方策指標4指標は、全て「達成」となりました。

○ 説明欄

政策項目の取組状況について、指標データなどにより説明

○ 目指す姿指標

県民の皆さんとともに目指す政策項目の最終成果指標

○ 丸数字

1年遅れでしか実績値が把握できない指標など、表題の年度以外の場合はその実績値の年度を丸数字で表示

【例②④：平成 24 年度】

※達成度(H24)は、確定した平成 24 年度実績値による達成度を表わしていますので、平成 24 年度の本書における本欄と異同があります。

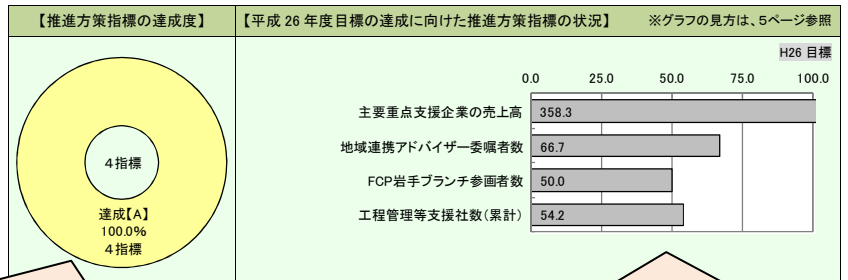
○ 特記事項

関連する社会経済情勢や県民意識調査結果など、当該政策項目を取り巻く状況について記載

特記事項

- 平成 25 年度県民意識調査によると、「地域資源を」とは 29 位となり、ニーズ度は 29 位となっています。

3 目指す姿を達成するための取組（県の具体的な推進方策）



○ 円グラフ

各推進方策指標の達成度ごとの構成比と指標数を表示
※ 構成比は、端数四捨五入の計算のため、100%にならない場合があります。

○ 推進方策指標の達成度

平成 25 年度目標に対して、どれくらい達成したかを示す割合

○ 達成度の計算方法

- ①通常指標（H22 現状値から数値を上げる目標の場合）
(H25 実績値 - H22 現状値) / (H25 目標値 - H22 現状値) × 100
- ②マイナス指標（H22 現状値から数値を下げる目標の場合）
(H22 現状値 - H25 実績値) / (H22 現状値 - H25 目標値) × 100
- ③維持指標等（H22 現状値等を維持する目標等の場合）
(H25 実績値) / (H22 現状値等) × 100

※ ①、②に該当するものの、震災を踏まえた目標設定としたこと等により①、②の計算方法で達成度の判定が行えない場合は、③の計算方法により判定しています。

○ 推進方策指標の進捗状況

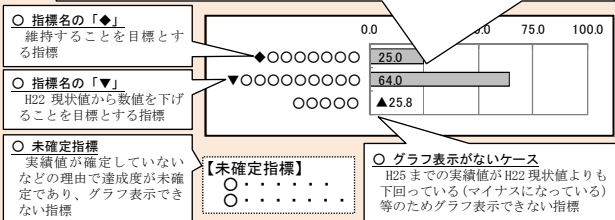
棒グラフは、平成 26 年度の目標に対する平成 25 年度の実績値から見た進捗割合を表示

○ 棒グラフの数字

【計算式】

- ・通常指標 (H25 実績値 - H22 現状値) / (H26 目標値 - H22 現状値) × 100
- ・マイナス指標 (H22 現状値 - H25 実績値) / (H22 現状値 - H26 目標値) × 100
- ・維持指標等 (H25 実績値) / (H23 ~ H26 目標の合算値) × 100

※ 震災を踏まえた目標設定とした場合など、この計算式により算出できない場合は、以下の計算式により算出しています。
(H25 実績値) / (H26 目標値) × 100



○ 指標名の「◆」

維持することを目標とする指標

○ 指標名の「▼」

H22 現状値から数値を下げることを目標とする指標

○ 未確定指標

実績値が確定していないなどの理由で達成度の判定が行えない場合、グラフ表示できない指標

○ 未確定指標

○ グラフ表示がないケース

H25 までの実績値が H22 現状値よりも下回っている（マイナスになっている）等のためグラフ表示できない指標

※ 過去のデータについては、これまでの公表の後の精査により修正等しているものがあります。

○ 具体的な推進方策指標
県が主体となって取り組む具体的な推進方策の目標（成果指標）

○ 丸数字
1年遅れでしか実績値が把握できない指標など、表題の年度以外の場合はその実績値の年度を丸数字で表示
【例②】：平成24年度】

○ 推進方策を構成する事業実績
具体的な推進方策を構成する事務事業の投入コストや活動実績、成果指標の状況について掲載

○ 事業名
例：○○事業(△△事業)【□□課】
【凡例】
○○：H25 事業名
△△：H25 事業の細事業名
□□：担当室課名（H25 時点）

(1) 中核事業等の重点密着支援

● 具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H23)	年度目標値 (H24)	実績値 (H24)	達成度 (H23)
12 主要重点支援企業の売上高(前年比毎年3%増、H22=100)	%	100	112	106	A

● 主要重点支援企業の売上高(前年比毎年3%増、H22=100)は、販路開拓や取引拡大の支援に務めた結果、達成度は【A】となりました。

● 推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額(千円)	活動内容指標					成果指標				
				指標名	単位	平成24年度			指標名	単位	平成24年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
再	★	いわてフードコミュニケーション推進事業【産業経済交流課】	(11,832)	商談会の開催回数	回	4	7	A	本事業による支援企業数	社	45	64	A
再		北いわて産業振興会【県北広域振興局経営企画部】	(7,189)	アドバイザーの配属企業訪問	人回	10	15	A	商談会開催者数	人	200	824	A
再		県中央域食産業ネットワーク推進事業【盛岡広域振興局経営企画部】		コーディネーターによる事業者訪問	回	60	258	A	企業等のビジネス支援件数	件	30	71	A
再		北東北域食産業ネットワーク推進事業【盛岡広域振興局経営企画部】		コーディネーター等開催回数	回	7	7	A	新規事業化等コーディネーター研修	件	20	53	A
再		北東北域食産業ネットワーク推進事業【盛岡広域振興局経営企画部】		産地と食品加工業者の商品開発数(累計)	件	6	6	A	産地と食品加工業者の商品開発数(累計)	件	6	6	A
再		北東北域食産業ネットワーク推進事業【盛岡広域振興局経営企画部】		ネットワーク構築参加法人数	件	6	6	A	ネットワーク構築参加法人数	件	6	6	A
再		北東北域食産業ネットワーク推進事業【盛岡広域振興局経営企画部】		協議会あつせ	件	231	231	A	協議会あつせ	件	231	231	A
再		北東北域食産業ネットワーク推進事業【盛岡広域振興局経営企画部】		協議会あつせ	件	100	100	A	協議会あつせ	件	100	100	A

○ 復興計画関連
岩手県東日本大震災津波復興計画における復興実施計画に掲げられる事業について★印を表示

○ 説明欄
具体的な推進方策の取組状況について、指標や構成事業のデータにより説明

○ 達成度(「活動内容指標」「成果指標」)
(実績値÷計画値)×100の計算結果により判定
※ 事務事業の成果指標が推進方策指標と同じ場合は、推進方策指標の計算式による。
※ 計画値、目標値が震災等の影響により設定できなかった場合または実績値が未確定等の場合は「-」と表示

(2) 区分

○ 区分
区分欄に表記している文字は、以下の事業を表わしています。
再：主掲事業の再掲
緊：緊急雇用基金の充当事業
ふ：ふるさと雇用再生特別基金の充当事業

区分	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H24)	実績値 (H24)	達成度 (H23)
-	6	2	4	A

加速化するため、計画を前倒しして、地域の復興推進コーディネーターとして4名委嘱し、

参考1：達成度の判定区分

区分	目標達成度
達成【A】	100%以上
概ね達成【B】	80%以上 100%未満
やや遅れ【C】	60%以上 80%未満
遅れ【D】	60%未満

※原則は左欄により判定を行っていますが、計画策定時から指標を取り巻く状況が著しく変化したことにより、これまでの基準に従って達成度を判定することが適当でなくなった場合は、達成度欄に「-」と表示のうえ、説明欄で状況を説明しています。

参考2：本説明書で用いる記号

- 指標名等で用いる記号
「▼」：現状値から数値を下げることを目標とする指標
「◆」：現状値等を維持することを目標とする指標
- 事業実績等で用いる記号
「★」：岩手県東日本大震災津波復興計画における復興実施計画に掲げられる事業
- 達成状況のグラフで用いる記号
「▲」：実績値が目標より下回っている(マイナスになっている)割合

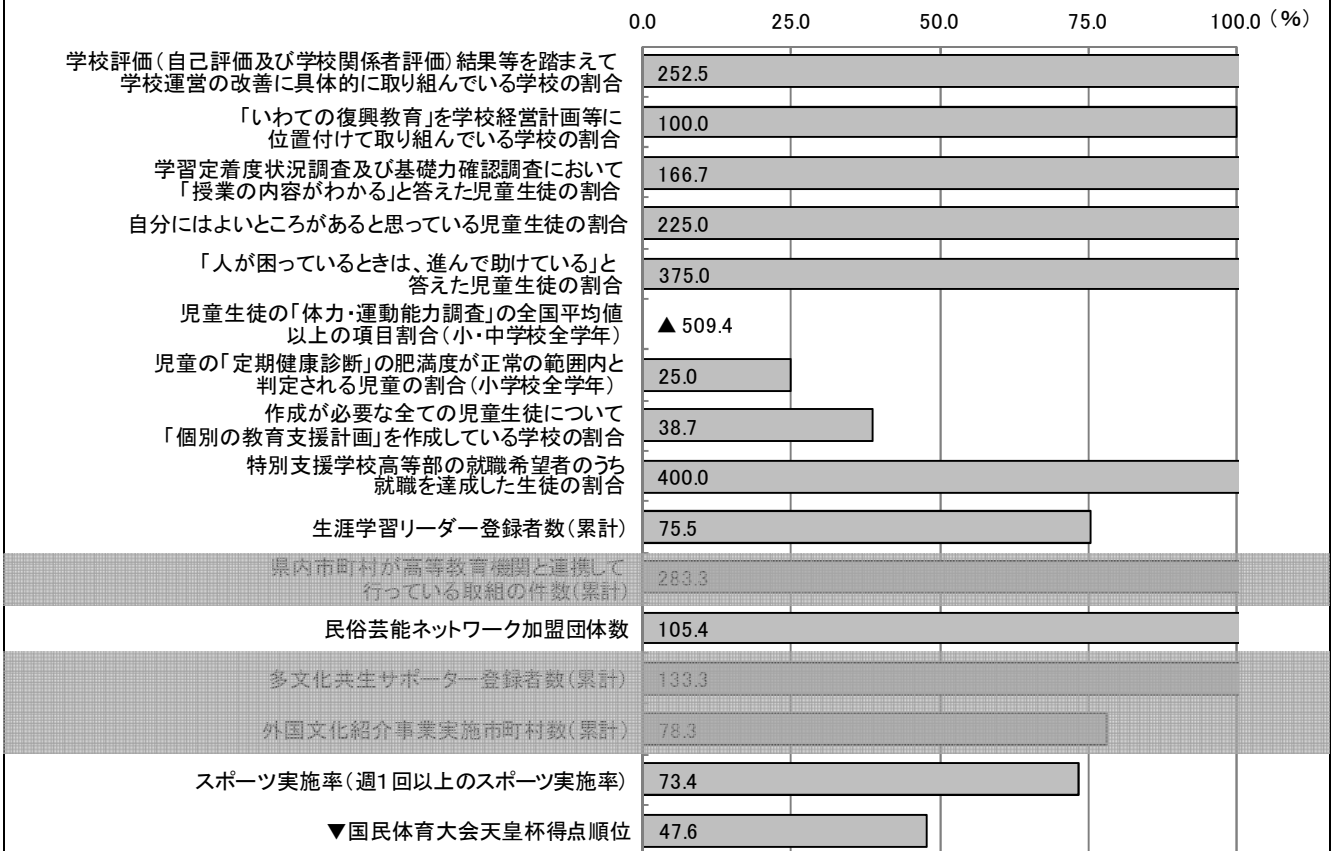
※ 過去のデータについては、これまでの公表の後の精査により修正等しているものがあります。

V 教育・文化～「人材・文化芸術の宝庫いわて」の実現～

平成26年度目標の達成に向けた目指す姿指標の状況

※ 棒グラフの見方は、2ページ参照。

H26目標



【未確定指標】

- 県内の公立文化施設における催事数

主な取組事項

■ 「いわての復興教育」の推進

「いわての復興教育」プログラム(改訂版)をもとに、県内のすべての公立小学校・中学校・高等学校・特別支援学校が「いわての復興教育」を推進できるように、各学校の取組を支援しました。

■ 数学(算数)・英語の学力向上

授業力向上セミナー等や学校訪問の際に、県学習定着度状況調査等を活用した具体的な目標設定の在り方や授業改善計画などを紹介し、各学校の授業改善の取組を支援しました。

■ 授業改善の推進と家庭学習の充実

課題解決のための具体的方策を示したリーフレットを全小中学校へ配布し、各市町村の指導主事が各学校の取組状況を把握するとともに、リーフレットを基にした助言・指導を行いました。

■ 特色ある教育課程の編成

適切な進路目標の設定に努めるとともに、進学支援ネットワーク事業やいわて未来創造人事業等を活用し、生徒一人ひとりの進路実現に向けた各学校の取組を支援しました。

■ 私立学校の特色ある教育活動の推進

建学の精神に基づいた学力向上や心の教育等の特色ある教育に取り組んでいる私立学校に対し、支援を行いました。

■ 道徳教育、体験活動・読書活動等の推進

小中学校教育課程協議会等で、ボランティア活動の教育課程への位置付けを説明するとともに、教育活動に位置付けられない学校の状況を確認し、指導・支援を図りました。

V 教育・文化

また、学校図書館担当者等研修会により指導者のスキルを高め、学校図書館の機能の充実を図ることを通して、児童生徒の主体的、意欲的な読書活動の充実に取り組みました。

■教育相談機能の充実

スクールカウンセラー配置校の拡充を図るとともに、巡回型カウンセラー（被災地支援県外カウンセラー）を増員し、専門的な教育相談が可能な体制を整えました。

また、学校心理学の専門性を有する教員を養成し、児童生徒の心のケアの充実と学校不適應の改善に取り組みました。

■健康教育の充実

養護教諭研修会や食育推進研修会等により指導者の養成を行うとともに、国の事業である学校保健課題解決支援事業や栄養教諭を中核とした食育推進事業を活用し、学校・家庭・地域の連携による体制づくりに取り組みました。

■県民と協働した特別支援教育体制づくり

特別支援学校において県民を対象としたボランティア養成講座を開講し、講座終了後に特別支援ボランティアとして登録する人を増やすとともに、各校種での活用に取り組みました。

■生涯にわたる学習機会の充実

生涯にわたる学習機会の充実のため、学びの情報提供や啓発活動、研修会の充実、地域人材の育成や活用により、地域社会の教育力向上を図るとともに、関係者のネットワークの構築に取り組みました。

■高等教育機関の連携の促進

それぞれの高等教育機関が、その特色を生かしながら力を合わせるにより、より充実した教育や研究が行えるよう、東日本大震災津波からの復興や地域の中核を担う人材の育成、復興に向けた課題解決などの取組を支援し、高等教育機関の連携を進めました。

■地域課題解決に向けた取組

(公)岩手県立大学では、教員の専門性を生かし、様々な団体と共同して地域課題研究を実施するなど、地域貢献の取組を進めました。

■文化芸術と県民との交流支援体制の整備

地域の文化芸術活動を支援するとともに、文化芸術と住民とをつなぐため、4広域振興圏（盛岡、県南、沿岸、県北）にコーディネーターを設置しました。

■伝統芸能等の伝承や郷土理解のための学校教育との連携

伝統芸能等の伝承や郷土の理解の促進のため、民俗芸能ネットワークを通じた情報提供を進めました。

■コミュニケーション及び生活支援の充実

外国人県民等^{※1}を支援する多言語サポーターの養成や、地域の日本語教室を巡回し、外国人受講者からの相談対応を行うなど、外国人県民等へのコミュニケーション及び生活の支援に取り組みました。

■海外とのネットワークの形成

海外県人会子弟（海外技術研修員）及び海外自治体職員研修員の招へいや、県内在住の留学生に対する支援を行い、海外とのネットワークの形成に取り組みました。

■中長期的な視点に立った選手育成や指導者養成の推進

第71回国民体育大会をはじめとして、各種全国大会で本県選手が上位入賞を果たせるよう、各種強化事業に取り組みました。

また、「いわてスーパーキッズ発掘・育成事業」により早期に発掘した優れた素質を持つ児童・生徒（小学校6年生～中学校3年生）を対象に、系統的な能力開発を行いました。

■岩手国体等の開催に向けた県民参加の促進

平成28年に本県で開催予定の第71回国民体育大会及び第16回全国障害者スポーツ大会が、東日本大震災津波からの「復興のシンボル」として、「復興の力」となるよう、県民の共通理解と機運の醸成を図るとともに、競技、式典、輸送・交通、宿泊などの各部門の実施に向け、基本計画の策定などを行いました。

また、第71回国民体育大会冬季大会の本県開催が決定したことから、冬季大会の開催に向けた取組を開始しました。

【用語解説】

※1 外国人県民等

外国籍を持つ県民や外国にルーツがある日本国籍を持つ県民。

V 教育・文化

政策項目No.24：家庭・地域との協働による学校経営の推進

1 みんなで目指す姿

「知・徳・体」を備え調和のとれた人間形成という教育目的の実現に向けて、学校評価を学校経営計画の改善に生かしながら、家庭・地域との協働による目標達成型の学校経営が行われています。

また、東日本大震災津波の経験を力として、県内全ての学校で「いわての復興教育」※¹に取り組み、岩手の復興・発展を担う子どもたちが育まれています。

【用語解説】

※¹ いわての復興教育

東日本大震災津波による被災体験を踏まえ、県内全ての学校がそれぞれの実情に応じて取り組むことができる教育プログラムを作成・普及することにより、子どもたち自らの未来を切り拓く力を育むとともに、県内の全ての学校が心を1つにして震災を見つめ、岩手の復興・発展を担う「ひとづくり」を進めていくための教育。

2 政策項目の状況

◎投入コスト

具体的な推進方策	事業数	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額の財源内訳			
				国庫	その他	県債	一般
(1) 目標達成型の学校経営の推進	0	0	0	0	0	0	0
(2) 学校と家庭・地域との協働の推進	1	202,307	191,691	191,691	0	0	0
(3) 「いわての復興教育」の推進	6	72,088	69,699	32,016	30,585	0	7,098

※ 再掲事業の予算額等は除いて集計しています。

◎目指す姿指標

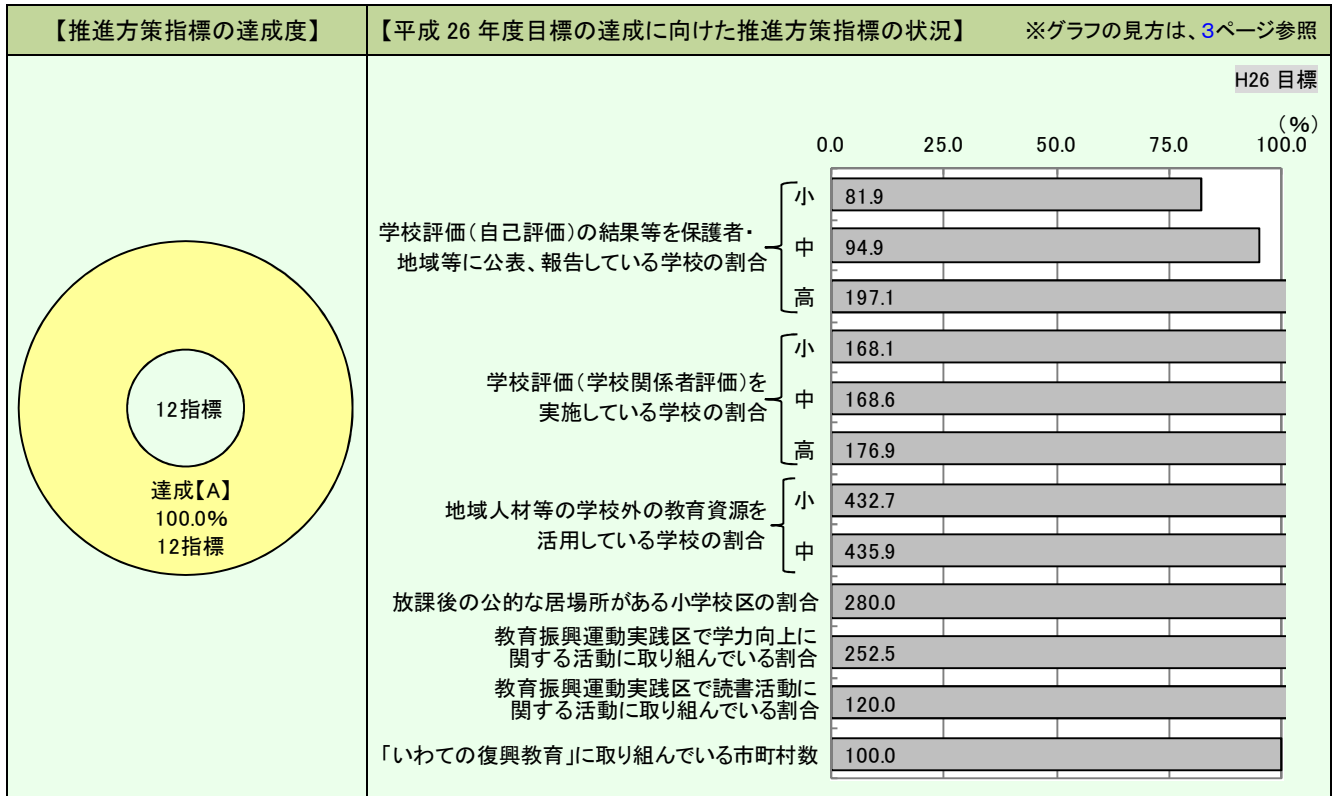
指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H25)	実績値 (H25)	達成度		
							(H23)	(H24)
56 学校評価(自己評価及び学校関係者評価)結果等を踏まえて学校運営の改善に具体的に取り組んでいる学校の割合	%	⑩ 58	74	69	98.4	A	A	A
57 「いわての復興教育」を学校経営計画等に位置付けて取り組んでいる学校の割合	%	—	100	90	100	A	—	A

- 学校評価（自己評価及び学校関係者評価）結果等を踏まえて学校運営の改善に具体的に取り組んでいる学校の割合及び「いわての復興教育」を学校経営計画等に位置付けて取り組んでいる学校の割合の達成度は【A】となりました。
- 推進方策指標 12 指標は、全て「達成」となりました。

特記事項

- 平成 26 年県民意識調査によると、「学校と地域との協力」の重要度は 21 位、満足度は 14 位となり、ニーズ度は 30 位となっています。

3 目指す姿を達成するための取組（県の具体的な推進方策）



(1) 目標達成型の学校経営の推進

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H25)	実績値 (H25)	達成度		
						(H23)	(H24)	(H25)
191	%	⑩小 80.6	90	87	88.3	A	A	A
192		⑩中 80.2	90	87	89.5	A	A	A
193		⑩高 79.7	90	87	100.0	A	A	A

- 学校評価（自己評価）の結果等を保護者・地域等に公表、報告している学校の割合は、小学校、中学校、高等学校のいずれも達成度は【A】となりました。

(2) 学校と家庭・地域との協働の推進

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H25)	実績値 (H25)	達成度		
						(H23)	(H24)	(H25)
194	%	⑩小 65.9	85	77	98.0	A	A	A
195		⑩中 65.6	85	77	98.3	A	A	A
196		⑩高 77.0	90	87	100.0	A	A	A
197	%	小 73.8	79	77	96.3	A	—	A
198		中 40.7	51	49	85.6	A	—	A
199	%	84.1	86.1	85.6	89.7	A	A	A
200	%	74	82	80	94.2	A	D	A
201	%	84	92	90	93.6	A	D	A

- 学校評価（学校関係者評価）を実施している学校の割合は、小学校、中学校、高等学校のいずれも達成度は【A】となりました。
- 地域人材等の学校外の教育資源を活用している学校の割合は、小学校、中学校ともに達成度は【A】となりました。
- 放課後子ども教室^{※3}等の放課後の公的な居場所がある小学校区の割合、教育振興運動実践区で学力向上に関する活動に取り組んでいる割合及び教育振興運動実践区で読書活動に関する活動に取り組んでい

る割合の達成度はいずれも【A】となりました。

【用語解説】

※2 教育振興運動

岩手において昭和40年から始まり、全ての市町村に推進組織が置かれ、学区や公民館区など計489の実践区（平成22年度現在）において、子ども、親、学校、地域、行政の5者が一体となり、地域の教育課題を解決するために自主的に行われている実践活動の総称。

※3 放課後子ども教室

子どもたちが放課後や週末に安全・安心に活動できる拠点（居場所）。地域の方々の参画を得て、勉強やスポーツ、文化活動、地域住民との交流活動等を子どもたちに提供。小学校の余裕教室や公民館等を活用して市町村が実施。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標						成果指標					
				指標名	単位	平成25年度			指標名	単位	平成25年度				
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度		
雇	★	学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業【生涯学習文化課】	191,691	学校支援地域本部数	本部	43	43	A	学校支援ボランティア数	人	5,500	5,142	B		
				指導者等の研修会の開催回数(累計)	回	21	21	A	放課後の公的な居場所がある小学校区の割合	%	85.6	89.7	A		
				学校、家庭、地域の連携による促進委員会の開催回数(累計)	回	14	14	A	中高生の学習支援設置箇所数	箇所	18	19	A		
				委託事業実施市町村数	市町村	30	30	A	-	-	-	-	-		

(3) 「いわての復興教育」の推進

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H25)	実績値 (H25)	達成度		
						(H23)	(H24)	
202 「いわての復興教育」に取り組んでいる市町村数	市町村	-	33	29	33	A	-	A

- 「いわての復興教育」に取り組んでいる市町村数の達成度は【A】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標						成果指標					
				指標名	単位	平成25年度			指標名	単位	平成25年度				
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度		
	★	いわての復興教育推進支援事業費【学校教育室】	13,281	復興教育取組推進校数	校	66	65	B	取組のねらいを達成した学校の割合	%	100	100	A		
	★	いわての復興教育推進支援事業費(記録誌「東日本大震災津波岩手の教育・復興の歩み(仮称)」作成事業【教育企画室】)	11,945	検討委員会開催回数	回	1	1	A	作成部数	部	3,200	3,200	A		
	★	県立学校復興担い手育成支援事業費【学校教育室】	11,896	復興交流推進取組実施校数	校	81	82	A	取組のねらいを達成した学校の割合	%	100	100	A		
	★	県立学校復興担い手育成支援事業費(復興を担う専門人材育成支援事業【学校教育室】)	3,436	復興担い手育成支援事業取組実施校数	校	6	6	A	事業目的の成果があった学校の割合	%	100	100	A		
	★	実践的防災教育総合支援事業費【学校教育室】	3,403	緊急地震速報受信システム設置校	校	3	4	A	緊急地震速報受信システムを活用した避難訓練(学習会)の実施回数	回	6	6	A		
学校防災アドバイザー派遣校				校	18	40	A	避難訓練や危機管理マニュアルの見直しを行った学校数	校	18	40	A			
災害ボランティア活動実施校				校	20	7	D	災害ボランティア活動への参加生徒数	人	1,150	729	C			
	★	復興教育・防災教育推進事業費【学校教育室】	25,738	復興教育研修会の開催回数	回	6	6	A	研修者の理解度	%	80	80	A		
復興教育副読本の作成種類				種類	3	3	A	研修のねらいを達成した研修者の割合	%	80	99	A			
県防災教育研修会の開催回数				回	1	1	A	-	-	-	-				

V 教育・文化

政策項目No.25：児童生徒の学力向上

1 みんなで目指す姿

各学校において分かりやすい授業が行われることにより、児童生徒一人ひとりに基礎・基本が定着^{※1}し、目指す進路を実現できる知識や技能が身に付いているとともに、自立した社会人になっていくために必要な総合力が身に付いています。

【用語解説】

※1 基礎・基本が定着

知識の習得とそれを活用する力、物事をしっかり考える力が身に付くこと。

2 政策項目の状況

◎投入コスト

具体的な推進方策	事業数	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額の財源内訳			
				国庫	その他	県債	一般
(1) 数学(算数)・英語の学力向上	7	240,057	237,193	5,235	181	0	231,777
(2) 授業改善の推進と家庭学習の充実	4	412,892	412,320	84,356	3,160	0	324,804
(3) 特色ある教育課程の編成	0						
(4) 「いわてキャリア教育指針」に基づくキャリア教育 ^{※2} の実践	3	18,049	16,231	0	0	0	16,231
(5) 私立学校の特色ある教育活動の推進	1	4,789,588	4,754,179	774,715	2,894	0	3,976,570

※ 再掲事業の予算額等は除いて集計しています。

◎目指す姿指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H25)	実績値 (H25)	達成度	
						(H23)	(H24)
58 学習定着度状況調査及び基礎力確認調査において、「授業の内容がわかる」と答えた児童生徒の割合	%	64	67	66	69	A	A

- 学習定着度状況調査及び基礎力確認調査において、「授業の内容がわかる」と答えた児童生徒の割合の達成度は【A】となりました。(小学校 88%、中学校 71%、高等学校 57%)
- 推進方策指標 18 指標は、「達成」・「概ね達成」が 16 指標 (88.9%)、「やや遅れ」・「遅れ」が 2 指標 (11.1%) となりました。

特記事項

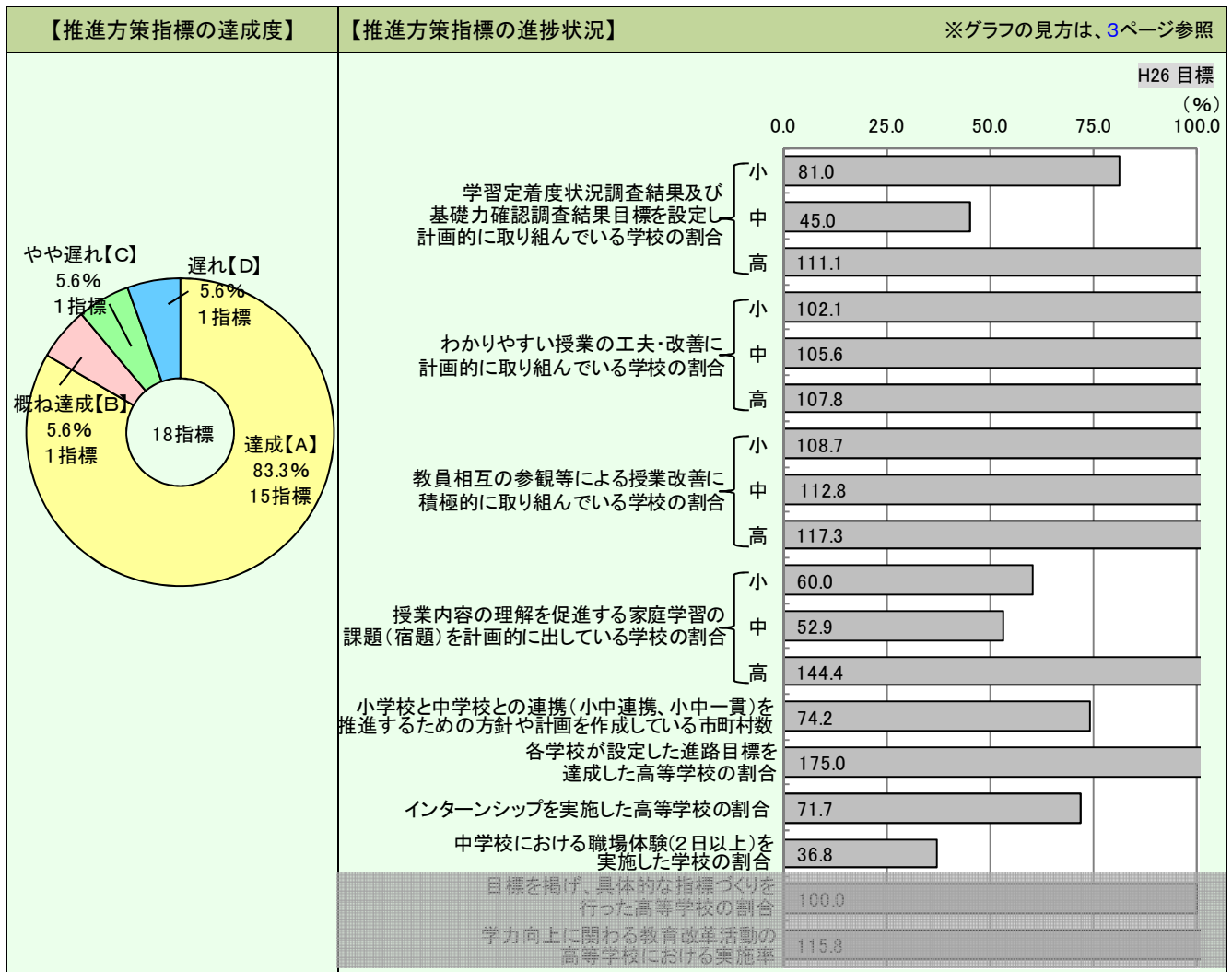
- 平成 26 年県民意識調査によると、「子どもの学力向上に向けた教育」の重要度は 20 位、満足度は 18 位となり、ニーズ度は 24 位となっています。

【用語解説】

※2 キャリア教育

児童生徒一人ひとりの勤労観・職業観を育てる教育。

3 目指す姿を達成するための取組（県の具体的な推進方策）



(1) 数学(算数)・英語の学力向上

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値(H22)	計画目標値(H26)	年度目標値(H25)	実績値(H25)	達成度		
						(H23)	(H24)	(H25)
203 学習定着度状況調査結果及び基礎力確認調査結果について目標を設定し計画的に取り組んでいる学校の割合	%	小 74	95	90	91	A	D	D
204		中 70	90	85	79	C	D	D
205		高 -	90	85	100	A	-	A

- 学習定着度状況調査結果及び基礎力確認調査結果について目標を設定し計画的に取り組んでいる学校の割合は、小学校及び高等学校では達成度は【A】となりましたが、中学校は目標設定に取り組んだ学校の割合は増加したものの、教科担任制のため目標設定を各担当者に任せる傾向があり、学校によって取組にばらつきがあったため達成度は【C】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額(千円)	活動内容指標						成果指標			
				指標名	単位	平成25年度			指標名	単位	平成25年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
		外国青年招致事業費(外国語指導助手(ALT)招致事業)【学校教育室】	44,602	外国語指導助手(ALT)の招致人数	人	10	10	A	ALTが週1回以上授業した県立学校の割合	%	19	19	A
		いわて進学支援ネットワーク事業費【学校教育室】	21,128	東大対策講座への参加校数(3年生)	校	5	10	A	外国語指導助手(ALT)の授業実施校数	校	12	15	A
				医学部進学セミナーへの参加校数(1,2年生)	校	10	10	A	東大対策講座の受講者数(3年生)	人	50	62	A
				二次重視大学対策講座への参加校数(3年生)	校	24	24	A	医学部進学セミナーの受講者数(1,2年生)	人	100	99	B
				センター重視大学対策講演会への参加校数(1・2年生)	校	40	57	A	二次重視大学対策講座の受講者数(3年生)	人	470	515	A
									センター重視大学対策講演会の受講者数(1・2年生)	人	420	602	A

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標						成果指標					
				指標名	単位	平成25年度			指標名	単位	平成25年度				
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度		
		外国語教育推進事業費【学校教育室】	157,093	業務委託の外国語指導助手(NS)の委託人数	人	35	35	A	NSが週1回以上授業した県立学校の割合	%	81	81	A		
		中高連携英語力向上推進事業費【学校教育室】	7,878	英語能力判定テストを受ける中学生の割合	%	100	100	A	英検3級レベルを身につけている中学3年生の割合	%	31	31	A		
		指導運営費(英語力等外国語能力強化事業)【学校教育室】	2,051	改善研修会の開催回数	回	2	2	A	改善研修会を受講する中学校教員の数	人	170	172	A		
		指導運営費(いわて高校生留学促進事業)【学校教育室】	3,184	グローバル人材育成のための講師派遣事業実施校数	校	10	10	A	改善研修会を受講する高校教員の数	人	150	160	A		
		高校数学活性化プロジェクト事業費【学校教育室】	1,257	数学・授業実践セミナー開催回数	回	6	6	A	拠点校英語集中講座を実施する校数	校	2	4	A		
									拠点校英語集中講座の生徒・教員の参加者数	名	100	114	A		
									グローバル人材育成のための講師派遣事業参加生徒数	人	1,000	1,509	A		
									数学の基礎力の向上に向けた授業改善に取り組んでいる学校	校	64	64	A		

(2) 授業改善の推進と家庭学習の充実

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H25)	実績値 (H25)	達成度			
						(H23)	(H24)		
206	わかりやすい授業の工夫・改善に計画的に取り組んでいる学校の割合	小	95	90	97	A	—	A	
207		中	90	80	95	A	—	A	
208		高	90	80	97	A	—	A	
209	教員相互の参観等による授業改善に積極的に取り組んでいる学校の割合	小	58.1	80	75	81.9	A	—	D
210		中	45.5	80	70	84.4	A	—	D
211		高	—	75	70	88.0	A	—	A
212	授業内容の理解を促進する家庭学習の課題(宿題)を計画的に出している学校の割合	小	82	87	85	85	A	D	C
213		中	46	63	55	55	A	A	A
214		高	—	63	55	91	A	—	A

- わかりやすい授業の工夫・改善に計画的に取り組んでいる学校の割合は、小学校、中学校、高等学校のいずれも達成度は【A】となりました。
- 教員相互の参観等による授業改善に積極的に取り組んでいる学校の割合は、小学校、中学校、高等学校のいずれも達成度は【A】となりました。
- 授業内容の理解を促進する家庭学習の課題(宿題)を計画的に出している学校の割合は、小学校、中学校、高等学校のいずれも達成度は【A】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標						成果指標					
				指標名	単位	平成25年度			指標名	単位	平成25年度				
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度		
		教職員研修費(授業力向上研修)【学校教育室】	5,650	校種ごと実施講座	講座	13	13	A	研修受講者の満足度	%	85	98	A		
		指導運営費(学力向上対策推進事業)【学校教育室】	15,688	調査分析の計画的な実施(調査システムの改善)率	%	100	100	A	◆システムによる分析を行った学校の割合	%	100	100	A		
									◆報告書を活用した指導改善に取り組んだ学校の割合	%	100	100	A		
		すこやかサポート推進事業費【教職員課】	205,580	小学校で30人を超える学級を有し、少人数加配のない学校への非常勤講師配置率	%	100	100	A	生徒指導面での改善率	%	90	96	A		
									学習指導面での改善率	%	90	100	A		
		教職員費(学校生活サポート推進事業)【教職員課】	185,402	14~16人複式学級への非常勤講師配置率	%	100	100	A	生徒指導面での改善率	%	85	98	A		
									学習指導面での改善率	%	85	100	A		

(3) 特色ある教育課程の編成

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H25)	実績値 (H25)	達成度	達成度	
							(H23)	(H24)
215 小学校と中学校との連携(小中連携、小中一貫)を推進するための方針や計画を作成している市町村数	市町村	2	33	25	25	A	A	A
216 各学校が設定した進路目標を達成した高等学校の割合	%	91	95	94	98	A	A	D

- 小学校と中学校との連携(小中連携、小中一貫)を推進するための方針や計画を作成している市町村数及び各学校が設定した進路目標を達成した高等学校の割合の達成度は【A】となりました。

(4) 「いわてキャリア教育指針」に基づくキャリア教育の実践

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H25)	実績値 (H25)	達成度	達成度	
							(H23)	(H24)
217 インターンシップを実施した高等学校の割合	%	78.8	84.8	83.3	83.1	B	D	A
218 中学校における職場体験(2日以上)を実施した学校の割合	%	76.6	78.5	78.0	77.3	D	D	B

- インターンシップ※³を実施した高等学校の割合の達成度は【B】となりました。
- 中学校における職場体験(2日以上)を実施した学校の割合は、職場体験の実施率は上昇したものの、授業時間数確保等の観点から2日以上の実施が進まなかったため、達成度は【D】となりました。

【用語解説】

※³ インターンシップ

生徒が在学中に、将来のキャリア(職業生活)に関連した就業体験を行うこと。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標					成果指標				
				指標名	単位	平成25年度			指標名	単位	平成25年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
		いわて未来創造人サポート事業費【学校教育室】	9,354	職場見学・学校訪問等の進路指導実施校	校	27	27	A	◆事業目的の成果があった学校割合(評価ランクB以上の学校割合)	%	100	100	A
	地域に係るものづくり体験学習実施校数			校	21	21	A	-		-	-	-	
	地域理解、世代・校種間交流活動実施校数			校	27	27	A	-		-	-	-	
		学校・地域の協働によるキャリア教育推進事業費【学校教育室】	5,877	企業見学実施支援学校数	校	6	6	A	職場インターンシップを実施した高等学校の割合	%	83.3	83.1	B
		キャリアアップサポート推進事業費補助【学校教育室】	1,000	-	-	-	-	-	産業教育振興会による支援件数	件	18	19	A

(5) 私立学校の特色ある教育活動の推進

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H25)	実績値 (H25)	達成度	達成度	
							(H23)	(H24)
219 目標を掲げ、具体的な指標づくりを行った高等学校の割合	%	-	100	90	100.0	A	D	D
220 学力向上に関わる教育改革活動の高等学校における実施率	%	43	55	52	56.9	A	A	A

- 目標を掲げ、具体的な指標づくりを行った高等学校の割合及び学力向上に関わる教育改革活動の高等学校における実施率の達成度は【A】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標					成果指標				
				指標名	単位	平成25年度			指標名	単位	平成25年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
		私立学校運営費補助【法務学事課】	4,754,179	-	-	-	-	-	目標を掲げ、具体的な指標づくりを行った高等学校の割合	%	90	100	A
	学力向上に関わる教育改革活動の高等学校における実施率			%	52	57	A						

V 教育・文化

政策項目No.26：豊かな心を育む教育の推進

1 みんなで目指す姿

幼児児童生徒一人ひとりが心の教育や体験活動等を通じて、好ましい人間関係を築ける協調性や進んで人を助けるなどの基本的な道徳観を身に付け、学校に適応しながら、社会人として自立して生きていくための生活基礎力を身に付けています。

また、東日本大震災津波により、心にダメージを受けた子どもたちへの心のサポートが適切になされ、子どもたちが自己肯定感や基本的な道徳観を身に付けているほか、東日本大震災津波の経験を力にして、発災前よりもよい地域をつくっていくという大きな志を持って前向きに力強く活動しています。

2 政策項目の状況

◎投入コスト

具体的な推進方策	事業数	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額の財源内訳			
				国庫	その他	県債	一般
(1) 道徳教育、体験活動・読書活動等の推進	2	959	816	419	0	0	397
(2) 家庭・地域との協働の充実	1	3,644	3,642	0	0	0	3,642
(3) 教育相談機能の充実	1	3,228	3,184	3,184	0	0	0
(4) 幼児児童生徒の心のサポートの充実	5	272,135	267,743	263,427	1,550	0	2,766
(5) 情報モラル教育の推進	1	2,957	2,922	0	2,922	0	0
(6) 私立学校の特色ある教育活動の推進	0	0	0	0	0	0	0

※ 再掲事業の予算額等は除いて集計しています。

◎目指す姿指標

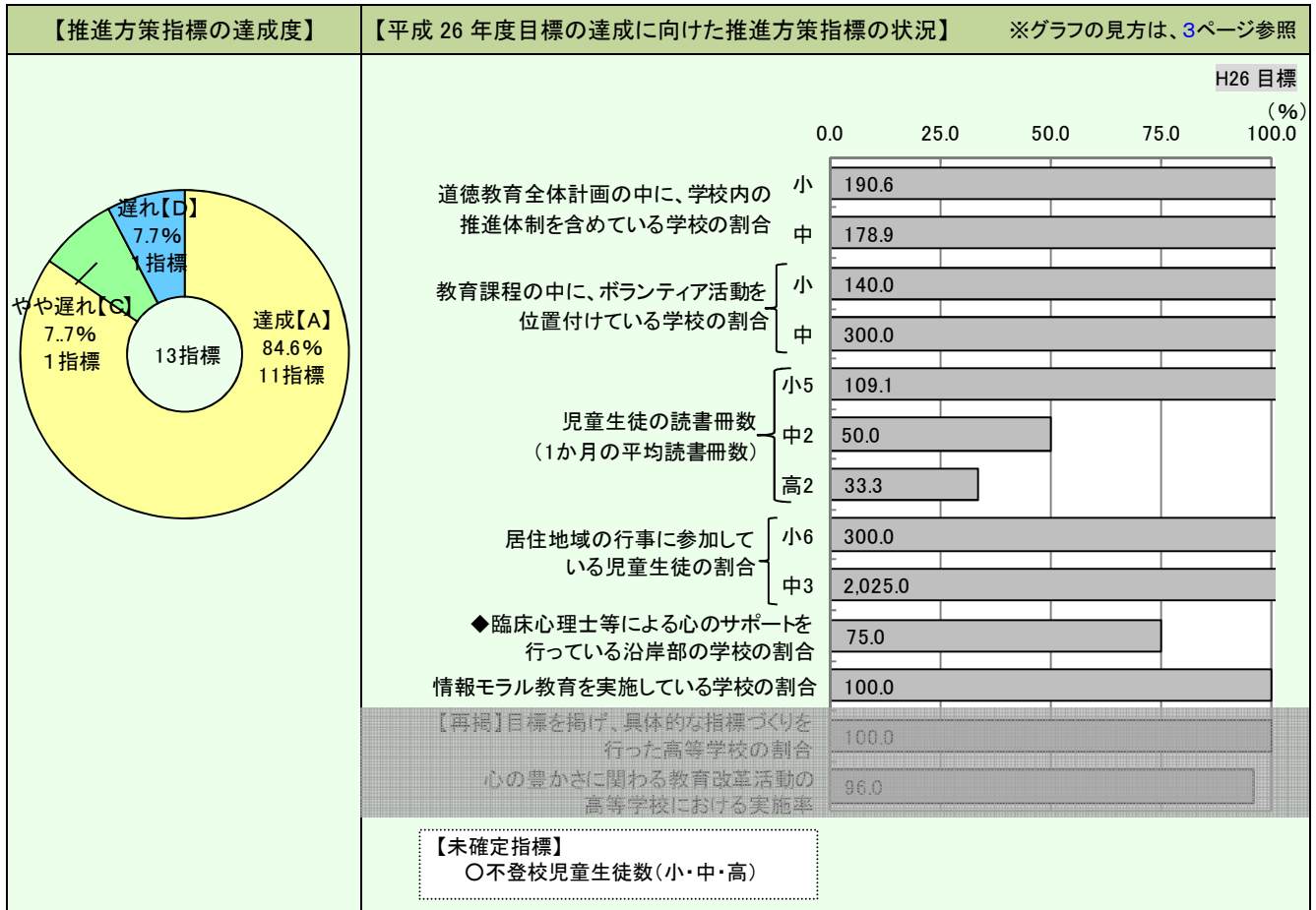
指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H25)	実績値 (H25)	達成度	達成度	
							(H23)	(H24)
59 自分にはよいところがあると思っている児童生徒の割合	%	56	60	59	65	A	—	A
60 「人が困っているときは、進んで助けている」と答えた児童生徒の割合	%	78	82	81	93	A	—	—

- 自分にはよいところがあると思っている児童生徒の割合及び「人が困っているときは、進んで助けている」と答えた児童生徒の割合の達成度は【A】となりました。
- 推進方策指標 16 指標は、達成度未確定の 3 指標を除き、「達成」・「概ね達成」が 11 指標 (84.6%)、「やや遅れ」・「遅れ」が 2 指標 (15.4%) となりました。

特記事項

- 平成 26 年県民意識調査によると、「人間性豊かな子どもの育成」の重要度は 7 位、満足度は 20 位となり、ニーズ度は 14 位となっています。

3 目指す姿を達成するための取組（県の具体的な推進方策）



(1) 道徳教育、体験活動・読書活動等の推進

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H25)	実績値 (H25)	達成度	
						(H23)	(H24)
221 道徳教育全体計画の中に、学校内の推進体制を含めている学校の割合	%	小 38	70	65	99	A	A
222 教育課程の中に、ボランティア活動を位置付けている学校の割合		中 32	70	65	100	A	A
223 教育課程の中に、ボランティア活動を位置付けている学校の割合	%	小 90	95	94	97	A	D
224 児童生徒の読書冊数(1か月の平均読書冊数)		中 72	80	78	96	A	A
225 児童生徒の読書冊数(1か月の平均読書冊数)	冊	小5 10.0	13.3	12.7	13.6	A	B
226		中2 3.6	4.2	4.0	3.9	C	A
227		高2 1.6	2.5	2.4	1.9	D	D

- 道徳教育全体計画の中に、学校内の推進体制を含めている学校の割合は、小学校、中学校ともに達成度は【A】となりました。
- 教育課程の中に、ボランティア活動を位置付けている学校の割合は、小学校、中学校ともに達成度は【A】となりました。
- 児童生徒の読書冊数（1か月の平均読書冊数）は、小5の達成度は【A】となりましたが、中学生及び高校生は、「いわての中高生のためのおすすめ図書100選」の活用による啓発等を実施したものの、部活動等により読書の時間が確保できない傾向にあるため、中2の達成度は【C】、高2の達成度は【D】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標			成果指標						
				指標名	単位	平成25年度			指標名	単位	平成25年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
		指導運営費(道徳教育推進事業)【学校教育室】	419	連絡協議会及び校内研究会の回数	回	4	4	A	啓発パンフレットの配布校数	校	535	535	A
	★	生涯学習推進費(子どもの読書活動推進事業)【生涯学習文化課】	397	読書ボランティア等研修会の回数(累計)	回	99	99	A	中学校2年生の読書者の割合	%	100	89.2	B
				-	-	-	-	-	学校における読書ボランティア活用割合	%	63	56.6	B

(2) 家庭・地域との協働の充実

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H25)	実績値 (H25)	達成度		
						(H23)	(H24)	
228 居住地域の行事に参加している児童生徒の割合	%	小6 81.2	81.6	81.5	82.4	A	—	D
229		中3 54.5	54.9	54.8	62.6	A	—	A

- 居住地域の行事に参加している児童生徒の割合は、小6、中3ともに達成度は【A】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標					成果指標				
				指標名	単位	平成25年度			指標名	単位	平成25年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
再雇	★	学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業【生涯学習文化課】	(191,691)	学校支援地域本部数	本部	43	43	A	学校支援ボランティア数	人	5,500	5,142	B
				指導者等の研修会の開催回数(累計)	回	21	21	A	放課後の公的な居場所がある小学校区の割合	%	85.6	89.7	A
				学校、家庭、地域の連携による促進委員会の開催回数(累計)	回	14	14	A	中高生の学習支援設置箇所数	箇所	18	19	A
				委託事業実施市町村数	市町村	30	30	A	—	—	—	—	—
	★	家庭教育推進費(家庭教育子育て支援推進事業)【生涯学習文化課】	3642	子育て電話相談、メール相談窓口の開設日数	日	365	365	A	子育て相談ニーズへの対応件数(累計)	件	8,000	8,093	A

(3) 教育相談機能の充実

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H25)	実績値 (H25)	達成度		
						(H23)	(H24)	
230	人	小 130	110	115	—	—	D	—
231 不登校児童生徒数		中 840	800	810	—	—	A	—
232		高 880	790	810	—	—	A	—

- 不登校児童生徒数は、文部科学省が行う問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査が未了のため、実測値が測定できませんでした。

なお、スクールカウンセラー配置校の拡充を図るとともに、巡回型カウンセラー（被災地支援県外カウンセラー）を増員し、専門的な教育相談が可能な体制を整えました。さらに、学校心理学の専門性を有する教員を養成し、児童生徒の心のケアの充実と学校不適応の改善に取り組みました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標					成果指標				
				指標名	単位	平成25年度			指標名	単位	平成25年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
	★	児童生徒健全育成推進費(スクールソーシャルワーカー(SSW)配置事業)【学校教育室】	3,184	スクールソーシャルワーカーの配置人数	人	9	9	A	◆相談希望への対応率	%	100	100	A

(4) 幼児児童生徒の心のサポートの充実

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H25)	実績値 (H25)	達成度		
						(H23)	(H24)	
233 臨床心理士等による心のサポートを行っている沿岸部の学校の割合	%	—	100	100	100	A	A	A

- 臨床心理士等による心のサポートを行っている沿岸部の学校の割合の達成度は【A】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標					成果指標				
				指標名	単位	平成25年度			指標名	単位	平成25年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
	★	児童生徒健全育成推進費(スクールカウンセラー等配置事業)【学校教育室】	249,261	中学校のスクールカウンセラー配置校数	校	140	130	B	◆相談希望への対応率	%	100	100	A
				巡回型カウンセラーの配置	人	11	11	A	—	—	—	—	
				スーパーバイザーの派遣	箇所	6	5	B	—	—	—	—	
				大学チームによる支援	箇所	3	3	A	—	—	—	—	
		児童生徒健全育成推進費(24時間いじめ相談ダイヤル事業)【学校教育室】	3,531	電話相談窓口の設置・運営	対応	3	3	A	◆相談希望への対応	%	100	100	A
		携帯カードの作成枚数	枚	148,000	148,000	A	—	—	—	—			
	★	児童生徒健全育成推進費(学校不適応総合対策事業)【学校教育室】	12,895	高校カウンセラーの配置人数	人	10	10	A	◆配置希望校への対応率(中学校)	%	100	100	A
				適応支援相談員の配置人数	人	—	—	—	◆配置希望校への対応率(高校)	%	100	100	A
				自立支援相談員の配置人数	人	2	2	A	問題を抱える児童生徒への対応率	%	100	100	A

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標			成果指標						
				指標名	単位	平成25年度			指標名	単位	平成25年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
	★	児童生徒健全育成推進費(教育相談コーディネーター養成事業)【学校教育室】	412	教育相談に係わる長期研修修了者	人	9	7	C	学校心理士資格取得率	%	100	100	A
		児童生徒健全育成推進費(いじめ問題総合対策事業)【学校教育室】	1,644	自立支援相談員の配置人数	人	2	2	A	問題を抱える児童生徒への対応率	%	100	100	A

(5) 情報モラル教育の推進

◎具体的な推進方策指標

区分	指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H25)	実績値 (H25)	達成度	平成25年度	
								(H23)	(H24)
234	情報モラル教育を実施している学校の割合	%	97	100	100	100	A	A	A

● 情報モラル教育を実施している学校の割合の達成度は【A】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標			成果指標						
				指標名	単位	平成25年度			指標名	単位	平成25年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
		児童生徒健全育成推進費(情報モラル教育推進事業)【学校教育室】	2,922	情報モラル出前講座等への講師派遣回数	回	10	10	A	研修受講者の満足度	%	70	70	A

(6) 私立学校の特色ある教育活動の推進

◎具体的な推進方策指標

区分	指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H25)	実績値 (H25)	達成度	平成25年度	
								(H23)	(H24)
235	【再掲】目標を掲げ、具体的な指標づくりを行った高等学校の割合	%	—	100	90	100.0	A	D	D
236	心の豊かさに関わる教育改革活動の高等学校における実施率	%	67	72	69	71.8	A	B	A

● 目標を掲げ、具体的な指標づくりを行った高等学校の割合及び心の豊かさに関わる教育改革活動の高等学校における実施率の達成度は【A】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標			成果指標						
				指標名	単位	平成25年度			指標名	単位	平成25年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
再		私立学校運営費補助【法務学専課】	(4,754,179)	—	—	—	—	—	目標を掲げ、具体的な指標づくりを行った高等学校の割合	%	90	100	A
				—	—	—	—	—	心の豊かさに関わる教育改革活動の高等学校における実施率	%	69	72	A

V 教育・文化

政策項目No.27：健やかな体を育む教育の推進

1 みんなで目指す姿

児童生徒が自らの体力や健康に関心を持ち、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を身に付けることにより、体力の向上と心身の健康の保持増進を図っています。

2 政策項目の状況

◎投入コスト

具体的な推進方策	事業数	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額の財源内訳			
				国庫	その他	県債	一般
(1) 体力向上や運動に親しむ環境づくり	1	5,600	4,583	4,583	0	0	0
(2) 健康教育の充実	0	0	0	0	0	0	0
(3) 指導者の資質向上・授業力向上	1	1,777	1,044	909	0	0	135

※ 再掲事業の予算額等は除いて集計しています。

◎目指す姿指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H25)	実績値 (H25)	達成度		
						(H23)	(H24)	
61 児童生徒の「体力・運動能力調査」 ^注 の全国平均値以上の項目割合(小・中学校全学年)	%	73.6	80.0	78.0	41.0	D	D	D
62 児童の「定期健康診断」の肥満度が正常の範囲内と判定される児童の割合(小学校全学年)	%	87.4	89.0	88.6	87.8	D	A	D

注 調査結果には沿岸南部教育事務所管内の結果は含まれていないもの。(体力・運動能力調査期間：5月～7月)

- 児童生徒の「体力・運動能力調査」^{*}の全国平均値以上の項目割合(小・中学校全学年)は、本県平均値は伸びたものの、それ以上に全国平均値が著しく伸びたため、達成度は【D】となりました。(平成22年度と平成25年度の体力・運動能力調査を比較すると、本県平均値は144項目中43項目で伸びたのに対し、全国平均値は108項目が伸びました。)
- 児童の「定期健康診断」の肥満度が正常の範囲内と判定される児童の割合(小学校全学年)は、食育の推進や児童生徒の望ましい生活習慣の確立に向けた支援などを行いましたが、日常の運動量の減少や運動をする児童としない児童の二極化なども影響し、肥満度の改善にはつながらなかったため、達成度は【D】となりました。
- 推進方策指標3指標は、「概ね達成」が1指標(33.3%)、「遅れ」が2指標(66.7%)となりました。

特記事項

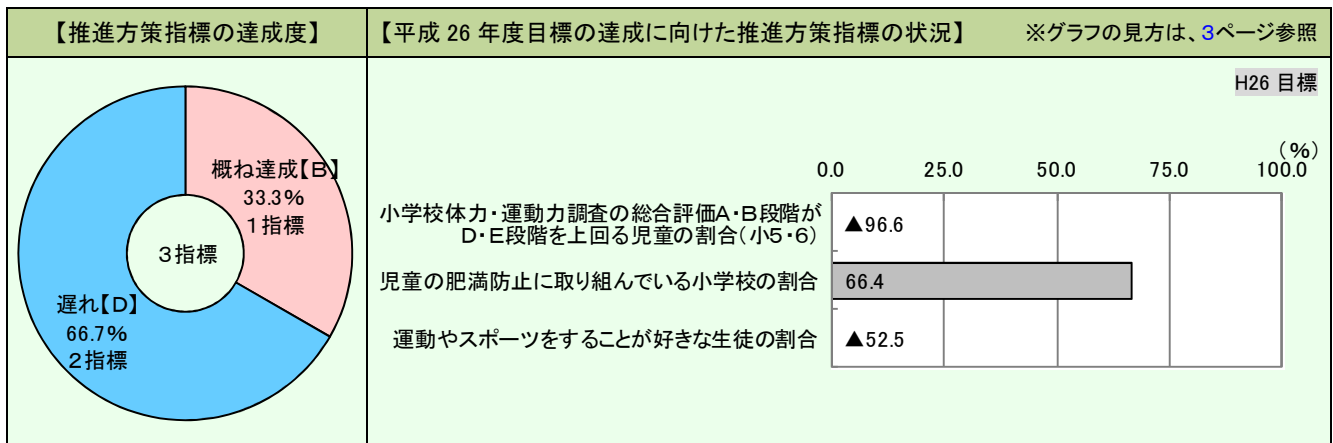
- 平成26年県民意識調査によると、「子どもの体力の向上」の重要度は14位、満足度は7位となり、ニーズ度は35位となっています。

【用語解説】

※ 体力・運動能力調査

通常は文部科学省が行う全国調査を指すが、本県では補完的に行っている独自調査を指している。

3 目指す姿を達成するための取組（県の具体的な推進方策）



(1) 体力向上や運動に親しむ環境づくり

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H25)	実績値 (H25)	達成度		
						(H23)	(H24)	(H25)
237 小学校体力・運動力調査の総合評価A・B段階がD・E段階を上回る児童の割合(小5・6)	%	24.6	30.5	29.0	18.9	D	D	D

- 小学校体力・運動力調査の総合評価A・B段階がD・E段階を上回る児童の割合(小5・6)は、東日本震災津波以降、屋外活動の自粛など外遊びの機会が減少したことから、体育授業の充実、体育授業以外の運動機会の増加に向けた取組及び各学校や地域の実態に合わせた体力向上の取組の支援を行うとともに、その取組の県内全体への周知に取り組みましたが、学校現場ではこれらの取組の検証結果の活用にはばらつきがあったため、達成度は【D】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標					成果指標				
				指標名	単位	平成25年度			指標名	単位	平成25年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
★		児童の体力向上推進事業費【スポーツ健康課】	4,583	事業活用学校数	校	11	14	A	事業活用回数	回	132	90	C

(2) 健康教育の充実

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H25)	実績値 (H25)	達成度		
						(H23)	(H24)	(H25)
238 児童の肥満防止に取り組んでいる小学校の割合	%	85.3	96.9	94.0	93.0	B	A	A

- 児童の肥満防止に取り組んでいる小学校の割合の達成度は【B】となりました。

(3) 指導者の資質向上・授業力向上

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H25)	実績値 (H25)	達成度		
						(H23)	(H24)	(H25)
239 運動やスポーツをすることが好きな生徒の割合	%	83.5	87.5	86.5	81.4	D	-	D

- 運動やスポーツをすることが好きな生徒の割合は、教員研修の在り方の改善と体育授業の充実及び中学校運動部活動の指導者に対する支援の充実並びに運動部に所属していない生徒の運動機会の確保や運動への関心意欲を高めることに取り組みましたが、学校現場ではこれらの取組の検証結果の活用にはばらつきがあったため、達成度は【D】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

政策項目 No. 27

区分	復興 計画 関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標					成果指標				
				指標名	単位	平成25年度			指標名	単位	平成25年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
		児童の体力向上推進事業費【ス ポーツ健康課】	1,044	体育実技アシスタントの 数	人	50	50	A	体育実技アシスタントの 派遣学校数	校	50	69	A
				小学校体育ステップアッ プ講習会の開催回数	回	1	1	A	小学校体育ステップアッ プ講習会の参加者数	人	40	40	A

V 教育・文化

政策項目No.28：特別支援教育の充実

1 みんなで目指す姿

障がいのある幼児児童生徒一人ひとりが教育的ニーズに応える支援体制のもとで、障がいのない子どもたちといきいきとした学校生活を送り、将来の自立に向けた「共に学び、共に育つ教育」が実現されています。

2 政策項目の状況

◎投入コスト

具体的な推進方策	事業数	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額の財源内訳			
				国庫	その他	県債	一般
(1) 就学前及び小・中学校、高等学校における特別支援教育の充実	2	34,553	33,976	0	125	0	33,851
(2) 特別支援学校における教育の充実	2	37,459	35,398	11,555	0	0	23,843
(3) 県民と協働した特別支援教育体制づくり	0	0	0	0	0	0	0
(4) 特別支援学校卒業生の就職支援	2	67,701	64,093	10,310	53,783	0	0

※ 再掲事業の予算額等は除いて集計しています。

◎目指す姿指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H25)	実績値 (H25)	達成度		
						(H23)	(H24)	
63 作成が必要な全ての児童生徒について「個別の教育支援計画」※1を作成している学校の割合	%	38	100	84	62	D	C	D
64 特別支援学校高等部の就職希望者のうち、就職を達成した生徒の割合	%	92.0	94.0	93.5	100.0	A	D	A

- 作成が必要な全ての児童生徒について「個別の教育支援計画」を作成している学校の割合は、個別の教育支援計画を策定するために必要な外部関係機関との調整に時間を要したため、達成度は【D】となりました。
- 特別支援学校高等部の就職希望者のうち、就職を達成した生徒の割合の達成度は【A】となりました。
- 推進方策指標7指標は、全て「達成」・「概ね達成」となりました。

特記事項

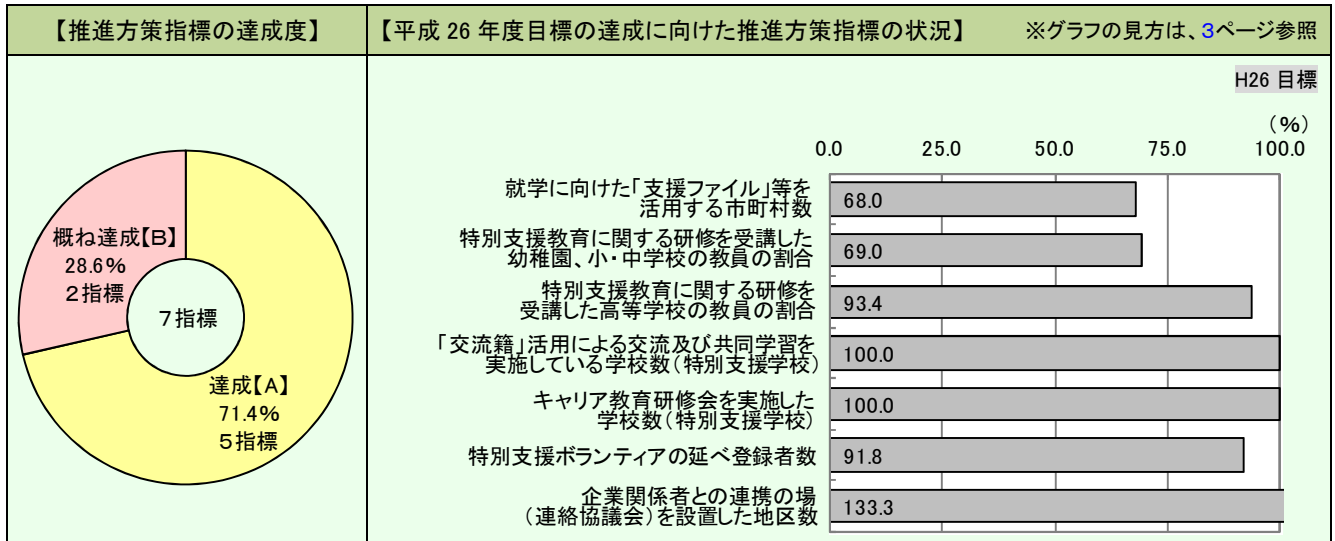
- 国においては、学校教育法施行令の一部を改正する政令が公布され、就学相談・就学先決定の在り方に係る制度改革が実施されるなど「障害者の権利に関する条約」の批准（平成26年1月）に向けて、障がいのある子どもが障がいのない子どもと共に教育を受けるインクルーシブ教育システムの構築のための短期的な取組が行われました。
- 平成26年県民意識調査によると、「全ての子どもが学べる環境」の重要度は15位、満足度は19位となり、ニーズ度は21位となっています。

【用語解説】

※1 個別の教育支援計画

教育サイドが主体となって作成する「個別の支援計画」。本人・保護者の参画や関係機関との連携により、継続した一貫性のある支援をねらいとして作成するもの。

3 目指す姿を達成するための取組（県の具体的な推進方策）



(1) 就学前及び小・中学校、高等学校における特別支援教育の充実

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値(H22)	計画目標値(H26)	年度目標値(H25)	実績値(H25)	達成度		
						(H23)	(H24)	
240 就学に向けた「支援ファイル」 ^{※2} 等を活用する市町村数	市町村	8	33	25	25	A	D	A
241 特別支援教育に関する研修を受講した幼稚園、小・中学校の教員の割合	%	58	100	90	87	B	D	B
242 特別支援教育に関する研修を受講した高等学校の教員の割合	%	39	100	100	96	B	A	B

- 就学に向けた「支援ファイル」等を活用する市町村数の達成度は【A】となりました。
- 特別支援教育に関する研修を受講した幼稚園、小・中学校及び高等学校の教員の割合の達成度は、いずれも【B】となりました。

【用語解説】

※2 支援ファイル

「個別の支援計画」に関連する資料。「いわて特別支援教育推進プラン」において、幼児期からの円滑な就学に向けた相談支援のための資料として、作成、活用されるよう働きかけているもの。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額(千円)	活動内容指標			成果指標						
				指標名	単位	平成25年度			指標名	単位	平成25年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
		特別支援教育推進事業費(いわて特別支援教育推進プラン実践事業)【学校教育室】	1,544	巡回相談をした特別支援学校数	校	14	14	A	◆巡回相談要請への対応率	%	100	100	A
		特別支援教育推進事業費(特別支援教育かがやきプラン推進事業)【学校教育室】	32,432	研修の場の提供及び合同研修会の開催回数	回	50	50	A	研修会参加人数	人	1,500	1,500	A
				高等学校への支援員配置数	人	26	26	A	支援員配置に伴い成果のあった学校の割合	%	100	100	A

(2) 特別支援学校における教育の充実

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値(H22)	計画目標値(H26)	年度目標値(H25)	実績値(H25)	達成度		
						(H23)	(H24)	
243 「交流籍」活用による交流及び共同学習を実施している学校数(特別支援学校)	校	2	(全校)14	(全校)14	14	A	A	A
244 キャリア教育研修会を実施した学校数(特別支援学校)	校	0	(全校)14	(全校)14	14	A	A	A

- 「交流籍」活用による交流及び共同学習を実施している学校数(特別支援学校数)及びキャリア教育研修会を実施した学校数(特別支援学校)の達成度は【A】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標						成果指標					
				指標名	単位	平成25年度			指標名	単位	平成25年度				
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度		
		特別支援教育推進事業費(特別支援学校医療的ケア体制整備事業)【学校教育室】	34,405	看護師等研修会の開催	回	1	1	A	研修会参加看護師数	人	39	35	B		
		特別支援教育推進事業費(特別支援学校スクールカウンセラー配置事業)【学校教育室】	993	特別支援学校へのカウンセラー派遣回数	回	60	60	A	◆看護師による医療的ケアの実施割合	%	100	100	A		
									◆相談希望への対応率	%	100	100	A		

(3) 県民と協働した特別支援教育体制づくり

◎具体的な推進方策指標

245	特別支援ボランティアの延べ登録者数	単位 人	現状値 (H22) 19	計画目標値 (H26) 80	年度目標値 (H25) 60	実績値 (H25) 75	達成度		
							(H23)	(H24)	
							A	—	A

- 特別支援ボランティアの延べ登録者数の達成度は【A】となりました。

(4) 特別支援学校卒業生の就職支援

◎具体的な推進方策指標

246	企業関係者との連携の場(連絡協議会)を設置した地区数	単位 地区数	現状値 (H22) 0	計画目標値 (H26) 6	年度目標値 (H25) 6	実績値 (H25) 8	達成度		
							(H23)	(H24)	
							A	A	A

- 企業関係者との連携の場(連絡協議会)を設置した地区数の達成度は【A】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標						成果指標					
				指標名	単位	平成25年度			指標名	単位	平成25年度				
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度		
		特別支援教育推進事業費(特別支援学校キャリア教育推進事業)【学校教育室】	10,351	企業との連携協議会対象校数	校	9	9	A	現場実習及び企業との連携協議会を実施した対象校の割合	%	100	100	A		
雇		教職員人事管理費(障がい者雇用促進対策事業)【学校教育室、教職員課】	53,742	特別支援学校卒業生の雇用人数	人	13	8	C	本事業を利用して一般企業に就労した者の割合	%	42	40	B		

V 教育・文化

政策項目No.29：生涯を通じた学びの環境づくり

1 みんなで目指す姿

県民一人ひとりが生涯にわたって自己実現を目指し、多様な機会を通じて学び、その学びの成果を生かすことが、生きがいづくりにつながり心豊かな生活になるとともに、郷土いわてに誇りを持ち愛着を深めています。

2 政策項目の状況

◎投入コスト

具体的な推進方策	事業数	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額の財源内訳			
				国庫	その他	県債	一般
(1) 学習活動を支援する環境の充実	0	0	0	0	0	0	0
(2) 生涯にわたる学習機会の充実	0	0	0	0	0	0	0

※ 再掲事業の予算額等は除いて集計しています。

◎目指す姿指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H25)	実績値 (H25)	達成度		
						(H23)	(H24)	
65 生涯学習リーダー※1登録者数(累計)	人	614	720	690	694	A	D	A

- 生涯学習リーダー登録者数(累計)の達成度は【A】となりました。
- 推進方策指標4指標は、全て「達成」・「概ね達成」となりました。

特記事項

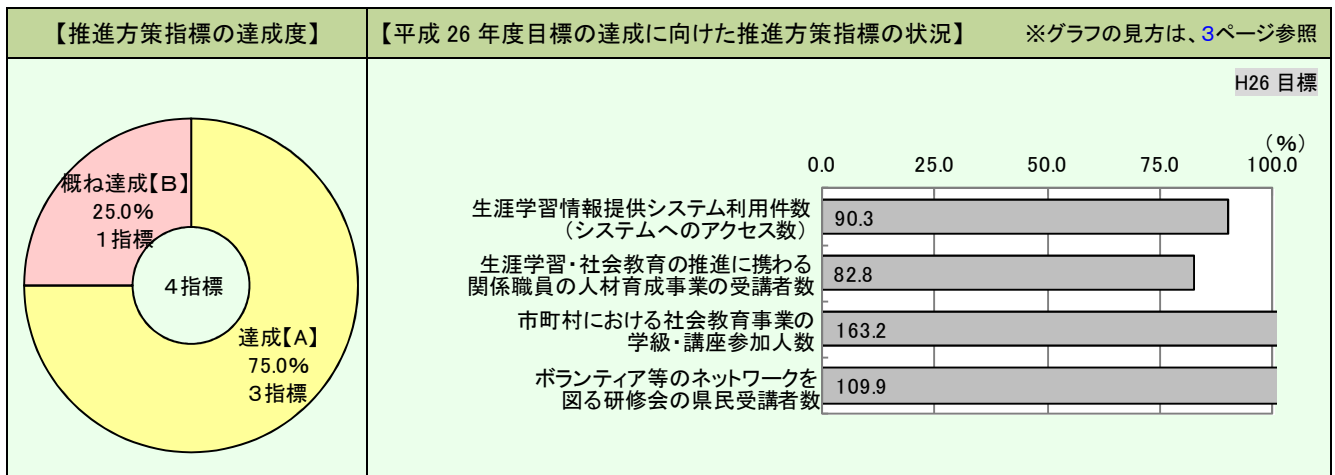
- 平成26年県民意識調査によると、「自分に適した内容や方法で学べる環境」の重要度は30位、満足度は24位となり、ニーズ度は33位となっています。

【用語解説】

※1 生涯学習リーダー

教養・文化、スポーツ・健康、ビジネスライフ、パソコン、学術一般、現代的課題の各分野において、生涯学習を推進する指導者として県立生涯学習推進センターに登録され、かつ県民に社会教育事業の活用を奨励している方。

3 目指す姿を達成するための取組(県の具体的な推進方策)



(1) 学習活動を支援する環境の充実

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H25)	実績値 (H25)	達成度	達成度	
							(H23)	(H24)
247 生涯学習情報提供システム※2利用件数 (システムへのアクセス数)	件	30,778	31,067	26,867	28,054	A	A	A
248 生涯学習・社会教育の推進に携わる関係 職員の人材育成事業の受講者数	人	2,867	2,900	2,600	2,400	B	A	A

- 生涯学習情報提供システム利用件数（システムへのアクセス数）の達成度は【A】となりました。
- 生涯学習・社会教育の推進に携わる関係職員の人材育成事業の受講者数の達成度は【B】となりました。

【用語解説】

※2 生涯学習情報提供システム

県が推進する生涯学習施策及び社会教育施策の紹介や事例をはじめ、市町村における各事業等、県民に対し生涯学習に係る情報を提供するホームページ。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興 計画 関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標					成果指標				
				指標名	単位	平成25年度			指標名	単位	平成25年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
再	★	家庭教育推進費(家庭教育子育て 支援推進事業)【生涯学習文化課】	(3,642)	子育て電話相談、メール 相談窓口の開設日数	日	365	365	A	子育て相談ニーズへの 対応件数(累計)	件	8,000	8,093	A
再雇	★	学びを通じた被災地の地域コミュ ニティ再生支援事業【生涯学習文 化課】	(191,691)	学校支援地域本部数	本部	43	43	A	学校支援ボランティア数	人	5,500	5,142	B
				指導者等の研修会の開 催回数(累計)	回	21	21	A	放課後の公的な居場所 がある小学校区の割合	%	85.6	89.7	A
				学校、家庭、地域の連携 による促進委員会の開 催回数(累計)	回	14	14	A	中高生の学習支援設置 箇所数	箇所	18	19	A
				委託事業実施市町村数	市町村	30	30	A	-	-	-	-	-

(2) 生涯にわたる学習機会の充実

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H25)	実績値 (H25)	達成度	達成度	
							(H23)	(H24)
249 市町村における社会教育事業の学級・講 座参加人数	千人	㉑ 500	㉕ 500	㉔ 470	㉔ 816	A	A	A
250 ボランティア等のネットワークを図る研修 会の県民受講者数	人	800	805	790	885	A	A	A

- 市町村における社会教育事業の学級・講座参加人数及びボランティア等のネットワークを図る研修会の県民受講者数の達成度は【A】となりました。

V 教育・文化

政策項目No.31：文化芸術の振興

1 みんなで目指す姿

多彩な本県の文化芸術が生まれ、創造・継承されるとともに、人々が文化芸術に触れ、活動・鑑賞する機会が増えています。

また、郷土の誇りと愛着をもたらす歴史遺産や伝統文化が保存継承され、その価値が広く内外に発信されています。

2 政策項目の状況

◎投入コスト

具体的な推進方策	事業数	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額の財源内訳			
				国庫	その他	県債	一般
(1) 文化芸術と県民との交流支援体制の整備	1	4,328	4,075	0	0	0	4,075
(2) 文化芸術活動と鑑賞機会の充実	0	0	0	0	0	0	0
(3) 豊かな創造性のかん養と文化芸術活動への支援	3	14,179	14,178	0	0	0	14,178
(4) 文化財の保存管理と活用の推進	2	374,976	350,394	121,478	37,844	0	191,072
(5) 世界遺産登録及び平泉文化研究の推進	4	35,207	34,266	2,332	4,996	0	26,938
(6) 伝統芸能等の伝承や郷土理解のための学校教育との連携	1	4,407	4,384	0	0	0	4,384
(7) 被災地における文化芸術活動支援	3	21,348	12,850	1,202	10,442	0	1,206

※ 再掲事業の予算額等は除いて集計しています。

◎目指す姿指標

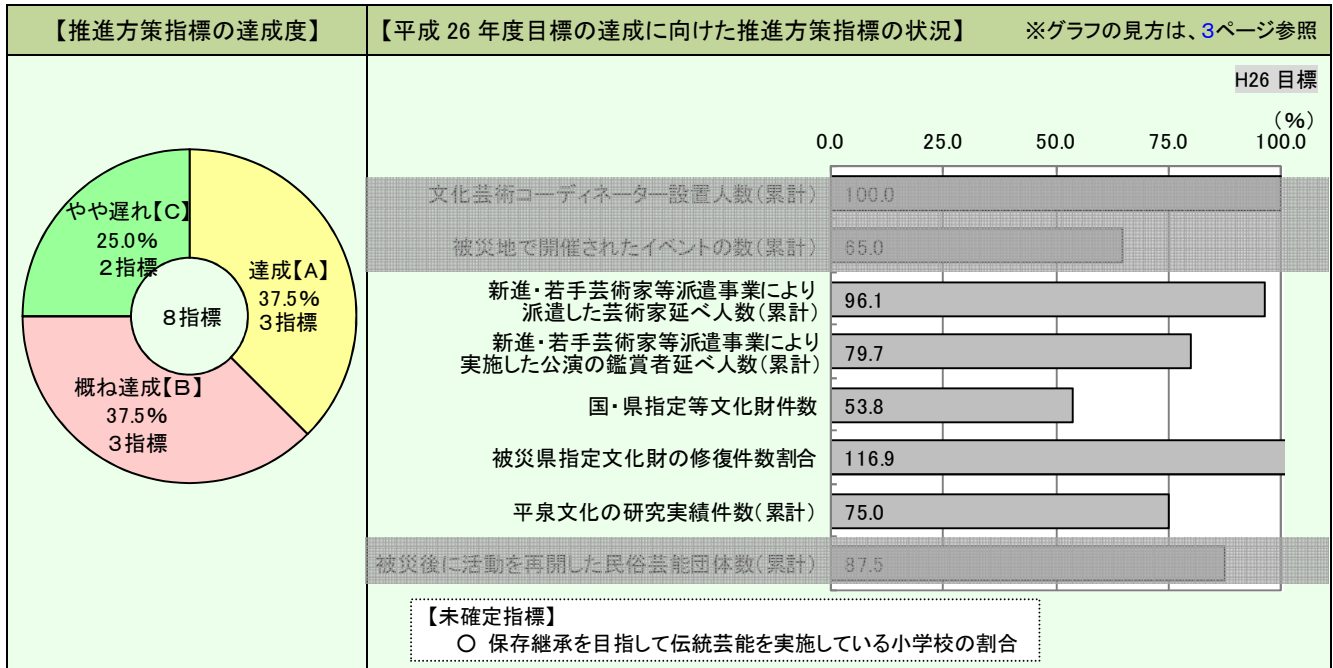
指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H25)	実績値 (H25)	達成度		
							(H23)	(H24)
67 県内の公立文化施設における催事数	件	912	912	866	-	-	A	A
68 民俗芸能ネットワーク加盟団体数	団体	343	380	370	382	A	A	A

- 県内の公立文化施設における催事数は、統計結果が未公表のため実績値は測定できませんでした。
- 民俗芸能ネットワーク加盟団体数の達成度は【A】となりました。
- 推進方策指標9指標は、達成度未確定の1指標を除き、「達成」・「概ね達成」が6指標（75.0%）、「やや遅れ」が2指標（25.0%）となりました。

特記事項

- 平成26年県民意識調査によると、「郷土愛の向上に向けた取組」の重要度は39位、満足度は12位で、ニーズ度は40位となっています。また、「地域や学校での文化芸術活動」の重要度は44位、満足度は2位で、ニーズ度は46位となっています。

3 目指す姿を達成するための取組（県の具体的推進方策）



(1) 文化芸術と県民との交流支援体制の整備

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H25)	実績値 (H25)	達成度		
						(H23)	(H24)	(H25)
257 文化芸術コーディネーター設置人数(累計)	人	1	4	4	4	A	A	D

● 文化芸術コーディネーター設置人数（累計）の達成度は【A】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標			成果指標						
				指標名	単位	平成25年度			指標名	単位	平成25年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
		いわて文化芸術王国構築事業費【NPO・文化国際課】	4,075	文化芸術コーディネーター設置に係る情報収集	件	3	3	A	文化芸術コーディネーター設置人数(累計)	人	4	4	A

(2) 文化芸術活動と鑑賞機会の充実

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H25)	実績値 (H25)	達成度		
						(H23)	(H24)	(H25)
258 被災地で開催されたイベントの数(県又は(公財)岩手県文化振興事業団の支援を受けたもの)(累計)	件	—	60	40	39	B	C	A

● 被災地で開催されたイベントの数（県又は(公財)岩手県文化振興事業団の支援を受けたもの）(累計)の達成度は【B】となりました。

(3) 豊かな創造性のかん養と文化芸術活動への支援

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H25)	実績値 (H25)	達成度		
						(H23)	(H24)	(H25)
259 新進・若手芸術家等派遣事業により派遣した芸術家延べ人数(累計)	人	163	—	680	660	B	B	A
260 新進・若手芸術家等派遣事業により実施した公演の鑑賞者延べ人数(累計)	人	2,881	—	10,000	8,558	C	A	C

● 新進・若手芸術家等派遣事業により派遣した芸術家延べ人数（累計）の達成度は【B】となりました。

● 新進・若手芸術家等派遣事業により実施した公演の鑑賞者延べ人数（累計）は、地理的条件に恵まれ

ない地域の学校を採択したことにより鑑賞者数が少なくなったため、達成度は【C】となりました。

◎推進方を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額(千円)	活動内容指標					成果指標				
				指標名	単位	平成25年度			指標名	単位	平成25年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
	★	芸術文化振興事業費(青少年芸術普及事業)【生涯学習文化課】	3,554	青少年劇場(本公演)の開催回数	回	22	21	B	公演の鑑賞者数	人	11,940	9,468	C
				青少年劇場(小公演)の開催回数	回	7	5	C	公演の鑑賞者数	人	50	226	A
	★	芸術文化振興事業費(高校生文化活動支援事業)【生涯学習文化課】	9,320	セミナーサポート事業回数	回	26	26	A	全国高総文祭団体入賞数	団体	2	3	A
				-	-	-	-	-	全国高総文祭個人入賞者数	人	1	1	A
	★	芸術文化振興事業費(岩手県中学校文化連盟補助)【生涯学習文化課】	1,304	県中総文祭実施回数	回	1	1	A	全国中文祭派遣団体数	団体	1	2	A
				-	-	-	-	-	全国中文祭派遣個人数	人	20	20	A

(4) 文化財の保存管理と活用の推進

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値(H22)	計画目標値(H26)	年度目標値(H25)	実績値(H25)	達成度	(H23)	(H24)
261 国・県指定等文化財件数	件	601	640	630	622	C	D	D
262 被災県指定文化財(修復対象22件)の修復件数割合	%	-	70.0	60.0	81.8	A	A	A

- 国・県指定等文化財件数は、622件で前年度と比較し14件増加していますが、東日本大震災津波による登録抹消数が新規の指定件数を相殺し、見込みどおり増加しなかったため、達成度は【C】となりました。
- 被災県指定文化財(修復対象22件)の修復件数割合の達成度は【A】となりました。

◎推進方を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額(千円)	活動内容指標					成果指標				
				指標名	単位	平成25年度			指標名	単位	平成25年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
	★	文化財保護推進費(被災ミュージアム再興事業)【生涯学習文化課】	242,967	市町村への委託数	件	4	4	A	仮設収蔵庫整備数累計	棟	13	13	A
雇	★	遺跡調査事業費(遺跡調査事業)【生涯学習文化課】	107,427	国、県の公共事業に係る埋蔵文化財調査事業数	件	4	4	A	市町村が行う埋蔵文化財調査への支援件数	件	9	9	A
				市町村公共事業に係る埋蔵文化財調査に対する支援を行う市町村数	市町村	9	9	A	-	-	-	-	-

(5) 世界遺産登録及び平泉文化研究の推進

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値(H22)	計画目標値(H26)	年度目標値(H25)	実績値(H25)	達成度	(H23)	(H24)
263 平泉文化の研究実績件数(累計)	件	3	15	12	12	A	A	A

- 平泉文化の研究実績件数(累計)の達成度は【A】となりました。

◎推進方を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額(千円)	活動内容指標					成果指標				
				指標名	単位	平成25年度			指標名	単位	平成25年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
		文化財保護推進費(平泉文化研究機関整備推進事業)【生涯学習文化課】	2,868	共同研究の実施件数	件	6	6	A	共同研究成果の論文数	本	6	6	A
				平泉文化フォーラムの開催回数	回	1	1	A	平泉文化フォーラムの参加者数	人	400	420	A
				研究年報の発行回数	回	1	1	A	-	-	-	-	-
		文化財保護推進費(縄文遺跡群世界遺産登録支援事業)【生涯学習文化課】	7,441	「学術会議」開催費用の負担	式	1	1	A	「学術会議」の開催	回	1	1	A
		世界遺産登録推進事業費【生涯学習文化課】	14,334	「平泉授業」の実施回数	回	20	20	A	「平泉授業」の受講者数	人	1,000	838	B
		文化財保護推進費(近代化産業遺産群世界遺産登録推進事業)【生涯学習文化課】	9,623	関係各種会議参加費用の負担	式	1	1	A	関係各種会議への参加回数	回	6	6	A

(6) 伝統芸能等の伝承や郷土理解のための学校教育との連携

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H25)	実績値 (H25)	達成度	達成度	
							(H23)	(H24)
264 保存継承を目指して伝統芸能を実施している小学校の割合	%	69.1	70.0	68.0	-	-	-	D

- 保存継承を目指して伝統芸能を実施している小学校の割合については、平成25年度は文部科学省が行う教育課程編成状況調査が実施されなかったため、実績値は測定できませんでした。
 なお、伝統芸能等の伝承や郷土理解の促進のため、民俗芸能ネットワークを通じた情報提供を進めました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標			成果指標						
				指標名	単位	平成25年度			指標名	単位	平成25年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
		文化財保護推進費(民俗芸能伝承促進事業)(生涯学習文化課)	4,384	民俗芸能フェスティバルの開催回数	回	1	1	A	民俗芸能フェスティバル鑑賞者数	人	600	800	A

(7) 被災地における文化芸術活動支援

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H25)	実績値 (H25)	達成度	達成度	
							(H23)	(H24)
265 被災後に活動を再開した民俗芸能団体数(県又は(公財)岩手県文化振興事業団の支援を受けた団体分)(累計)	団体	-	80	75	70	B	B	C

- 被災後に活動を再開した民俗芸能団体数(県又は(公財)岩手県文化振興事業団の支援を受けた団体分)(累計)の達成度は【B】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標			成果指標						
				指標名	単位	平成25年度			指標名	単位	平成25年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
	★	郷土芸能復興支援事業費補助(N-PO・文化回廊)	8,496	市町村を通じた郷土芸能団体への補助	件	12	7	D	活動再開した郷土芸能団体数	団体	12	7	D
	★	いわての学び希望基金被災地児童生徒文化活動支援事業費補助【生涯学習文化課】	1,950	中文祭参加補助団体数	団体	2	1	D	中文祭参加補助者数	人	50	36	C
				高文祭参加補助団体数	団体	26	15	D	高文祭参加補助者数	人	500	255	D
				高校生セミナーサポート参加補助団体数	団体	13	8	C	高校生セミナーサポート参加補助者数	人	200	35	D
				吹奏楽・合唱コンクール県大会等参加補助団体数	団体	18	7	D	吹奏楽・合唱コンクール県大会等参加補助者数	人	300	150	D
	★	震災復興支援あーとキャラバン実施事業費【生涯学習文化課】	2,404	あーとキャラバン開催回数	回	4	4	A	あーとキャラバン参加者数	人	120	691	A

V 教育・文化

政策項目No.33：豊かなスポーツライフの振興

1 みんなで目指す姿

県民一人ひとりが、それぞれのライフステージやライフスタイルに応じてスポーツを楽しむことができる環境が整い、誰もが「する、みる、ささえる」スポーツに親しむ機会や場が増えています。

また、平成 28 年に本県での開催が予定されている国民体育大会（以下「岩手国体」という。）を、東日本大震災津波からの復興のシンボルと位置付け、開催に向けて、選手強化はもとより、「県民」、「企業」、「団体」等との協働を基本とした、様々な新しい取組が行われています。

2 政策項目の状況

◎投入コスト

具体的な推進方策	事業数	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額の財源内訳			
				国庫	その他	県債	一般
(1) スポーツの環境づくりと地域に根ざしたスポーツ振興の推進	2	7,184	6,123	0	2,816	0	3,307
(2) 中長期的な視点に立った選手育成や指導者養成の推進	9	371,357	364,388	0	30,781	0	333,607
(3) スポーツ医・科学サポート体制の充実	1	33,006	31,712	0	13,752	0	17,960
(4) 岩手国体等の開催に向けた県民参加の促進	4	857,899	529,974	128,436	401,538	0	0

※ 再掲事業の予算額等は除いて集計しています。

◎目指す姿指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H25)	実績値 (H25)	達成度		
							(H23)	(H24)
71 スポーツ実施率※ ¹ (週1回以上のスポーツ実施率)	%	38.1	52	49	48.3	B	A	A
72 国民体育大会天皇杯得点順位	位	33	12	17	23	C	A	D

- スポーツ実施率（週1回以上のスポーツ実施率）の達成度は【B】となりました。
- 国民体育大会天皇杯得点順位は23位と、平成24年の39位から大幅に順位を上げ、選手強化の成果が表れたものの、東日本大震災津波の影響により平成23年度に一旦、国体選手強化事業を中断したことによる遅れを取り戻せていないため、達成度は【C】となりました。
- 推進方策指標4指標は、全て「達成」・「概ね達成」となりました。

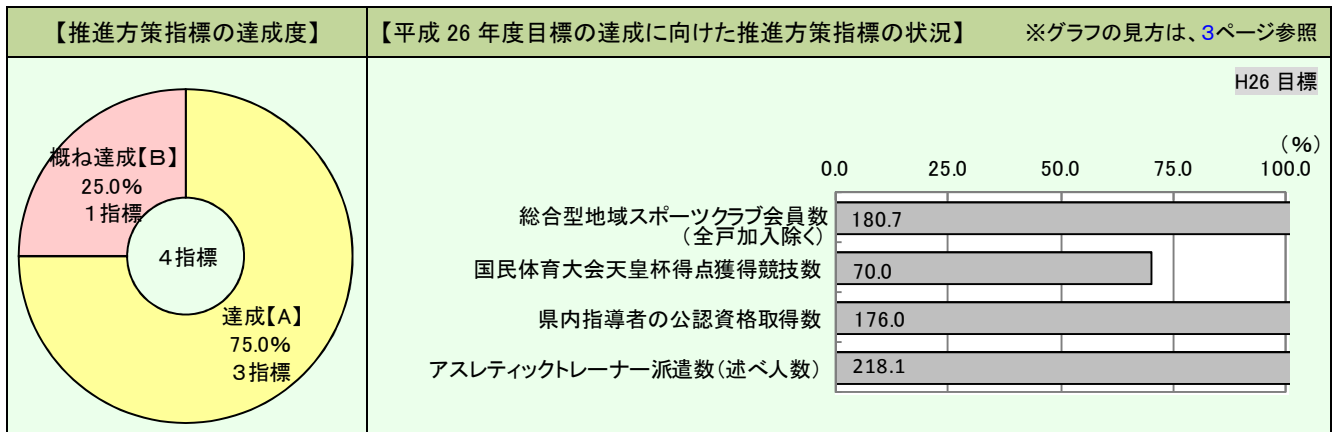
特記事項

- 平成26年県民意識調査によると、「県出身スポーツ選手の活躍」の重要度は41位、満足度は3位となり、ニーズ度は45位となっています。

【用語解説】

- ※1 スポーツ実施率
週1回以上スポーツをした成人の割合。

3 目指す姿を達成するための取組（県の具体的な推進方策）



(1) スポーツの環境づくりと地域に根ざしたスポーツ振興の推進

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H25)	実績値 (H25)	達成度		
						(H23)	(H24)	
270 総合型地域スポーツクラブ会員数(全戸加入除く)	人	5,200	6,400	6,100	7,368	A	D	A

● 総合型地域スポーツクラブ会員数(全戸加入除く)の達成度は【A】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標				成果指標					
				指標名	単位	平成25年度			指標名	単位	平成25年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
	★	生涯スポーツ推進費(生涯スポーツ推進プラン)【スポーツ健康課】	5,168	広域スポーツセンター指導員派遣市町村数	市町村	33	28	B	派遣延べ回数	回	49	43	B
		広域スポーツセンター機能強化事業費【スポーツ健康課】	955	マッチングサイトの構築	%	100	100	A	登録指導者等数	人	200	150	C

(2) 中長期的な視点に立った選手育成や指導者養成の推進

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H25)	実績値 (H25)	達成度		
						(H23)	(H24)	
271 国民体育大会天皇杯得点獲得競技数	競技	19	30	25	21	B	A	D
272 県内指導者の公認資格取得数	人	2,196	2,400	2,350	2,555	A	A	A

● 国民体育大会天皇杯得点獲得競技数の達成度は【B】となりました。

● 県内指導者の公認資格取得数の達成度は【A】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標				成果指標					
				指標名	単位	平成25年度			指標名	単位	平成25年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
		岩手県高等学校体育連盟補助【スポーツ健康課】	12,542	全国高校総体出場競技数	競技	33	33	A	全国高校総体への派遣人数	人	932	766	B
		岩手県中学校体育連盟補助【スポーツ健康課】	6,000	全国中学校体育大会出場競技数	競技	20	19	B	全国中学校体育大会への派遣人数	人	336	325	B
	★	いわての学び希望基金被災地生徒運動部活動支援事業費補助【スポーツ健康課】	28,714	県中総体・新人大大会出場競技数	競技	21	18	B	県中総体・新人大大会出場補助者数	人	1,071	580	D
				県高総体・新人大大会出場競技数	競技	48	24	D	県高総体・新人大大会出場補助者数	人	2,650	1,736	C
				東北中学校体育大会出場競技数	競技	8	7	B	東北中学校体育大会出場補助者数	人	161	23	D
				東北高校選手権大会出場競技数	競技	19	13	C	東北高校選手権大会出場補助者数	人	298	84	D
				全国中学校体育大会出場競技数	競技	6	2	D	全国中学校体育大会出場補助者数	人	47	4	D
				全国高校総体出場競技数	競技	16	6	D	全国高校総体出場補助者数	人	131	15	D
		競技力向上対策事業費(いわてアスリート強化事業費)【スポーツ健康課】	68,392	強化事業実施競技延べ団体数	団体	120	120	A	強化事業参加人数	人	1,482	5,451	A
		競技力向上対策事業費(全国大会派遣費)【スポーツ健康課】	49,322	全国高校総体及び全国中学校体育大会出場競技数	競技	49	52	A	全国高校総体及び全国中学校体育大会への派遣人数	人	1,264	1,091	B
		体育大会開催、派遣事業費(東北大会派遣費)【スポーツ健康課】	22,763	東北総合体育大会選手派遣競技数	競技	26	36	A	東北総合体育大会選手派遣人数	人	786	741	B

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標						成果指標					
				指標名	単位	平成25年度			指標名	単位	平成25年度				
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度		
		競技力向上対策事業費(いわてスーパークッズ発掘・育成事業)【スポーツ健康課】	12,617	体カテスト(チャレンジ2)の開催回数	回	7	7	A	体カテスト(チャレンジ2)参加児童数	人	700	294	D		
				スペシャルスクールの開催回数	回	32	52	A	スペシャルスクール参加児童数	人	2,405	2,100	B		
雇		第71回国民体育大会選手強化事業費【スポーツ健康課】	159,554	強化練習会・遠征合宿実施競技団体	団体	40	40	A	強化練習会・遠征合宿参加人数	人	797	1,880	A		
		第16回全国障害者スポーツ大会選手育成強化事業費【障がい保健福祉課】	4484	選手強化練習等の開催	回	15	15	A	選手強化練習等参加者数	人	200	205	A		

(3) スポーツ医・科学サポート体制の充実

◎具体的な推進方策指標

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H25)	実績値 (H25)	達成度		
										(H23)	(H24)	
273		アスレティックトレーナー※2派遣数(延べ人数)		人	154	452	379	804	A	A	A	

- アスレティックトレーナー派遣数(延べ人数)の達成度は【A】となりました。

【用語解説】

※2 アスレティックトレーナー
スポーツ現場における選手に対するサポートスタッフ(傷害予防等)。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標						成果指標					
				指標名	単位	平成25年度			指標名	単位	平成25年度				
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度		
		スポーツ健康科学サポート推進事業【スポーツ健康課】	31,712	サポートする団体数	団体	30	60	A	サポート件数	件	300	804	A		

(4) 岩手国体等の開催に向けた県民参加の促進

- 第71回国民体育大会及び第16回全国障害者スポーツ大会が、東日本大震災津波からの「復興のシンボル」として、「復興の力」となるよう、県民の共通理解と機運の醸成を図るとともに、競技、式典、輸送・交通、宿泊などの各部門の実施に向け、基本計画の策定などを行いました。
また、第71回国民体育大会冬季大会の本県開催が決定したことから、冬季大会の開催に向けた取組を開始しました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標						成果指標					
				指標名	単位	平成25年度			指標名	単位	平成25年度				
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度		
		第71回国民体育大会・第16回全国障害者スポーツ大会開催準備費【総務課】	149,468	専門委員会等の開催	回	27	27	A	募金・企業協賛金額	百万円	170	188	A		
				募金・企業協賛の訪問要請	件	180	316	A							
		第71回国民体育大会市町村競技施設整備費補助【施設課】	110,842	市町村競技施設整備費の補助	箇所	8	8	A	競技可能施設数	箇所	14	12	B		
		第16回全国障害者スポーツ大会開催準備費【総務課】	12,791	準備委員会の開催	回	2	2	A	基本計画の策定	式	1		A		
		国体関連競技施設整備事業費【スポーツ健康課】	256,873	整備施設数	箇所	3	2	C	施設の整備率	%	100	67	C		

VII 社会資本・公共交通・情報基盤

政策項目No.38：安全で安心な暮らしを支える社会資本の整備

1 みんなで目指す姿

東日本大震災津波により市街地等が被災した沿岸地域では、「多重防災型」の復興まちづくりとともに、湾口防波堤や防潮堤などの津波防災施設の復旧・整備や、津波から安全かつ適確に避難するためのソフト施策などによる防災都市・地域づくりが進んでいます。

地震や洪水、土砂災害などから県民の生命・財産を守る災害防止施設の整備や、県民が不測の事態に対応して自ら適切に判断し行動できるようにするためのソフト施策が進んでいます。

災害時の緊急輸送や地域医療を支援する信頼性の高い道路ネットワークの構築、通学路への歩道整備、住宅や学校施設及び医療機関の耐震化など、日常の生活を支える社会資本の整備が進んでいます。

2 政策項目の状況

◎投入コスト

具体的な推進方策	事業数	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額の財源内訳			
				国庫	その他	県債	一般
(1) 多重防災型まちづくりの推進							
(2) 地震・洪水・土砂災害対策の推進							
(3) 日常生活を支える安全な道づくりの推進							
(4) 信頼性の高い道路ネットワークの確立							

※ 再掲事業の予算額等は除いて集計しています。

◎目指す姿指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H25)	実績値 (H25)	達成度		
							(H23)	(H24)
86 新しい津波防災の考え方に基づいた津波防災施設の整備率	%	26.7	68.3	48.8	29.4	D	A	D
87 河川整備率	%	47.9	48.3	48.2	48.4	A	A	A
88 土砂災害のおそれがある区域に立地する災害時要援護者関連施設 ^{※1} の土砂災害警戒区域等指定率	%	30.0	100.0	83.0	44.5	D	D	D
89 通学路(小学校)における歩道整備率	%	73.7	75.6	75.0	74.6	C	A	A

- 新しい津波防災の考え方に基づいた津波防災施設の整備率は、・・・・・・、達成度は【○】となりました。
- 河川整備率は、・・・・・・、達成度は【○】となりました。
- 土砂災害のおそれがある区域に立地する災害時要援護者関連施設の土砂災害警戒区域等指定率は、・・・・・・、達成度は【○】となりました。
- 通学路(小学校)における歩道整備率は、・・・・・・、達成度は【○】となりました。
- 教育委員会が所管する推進方策指標1指標は、「概ね達成」となりました。

特記事項

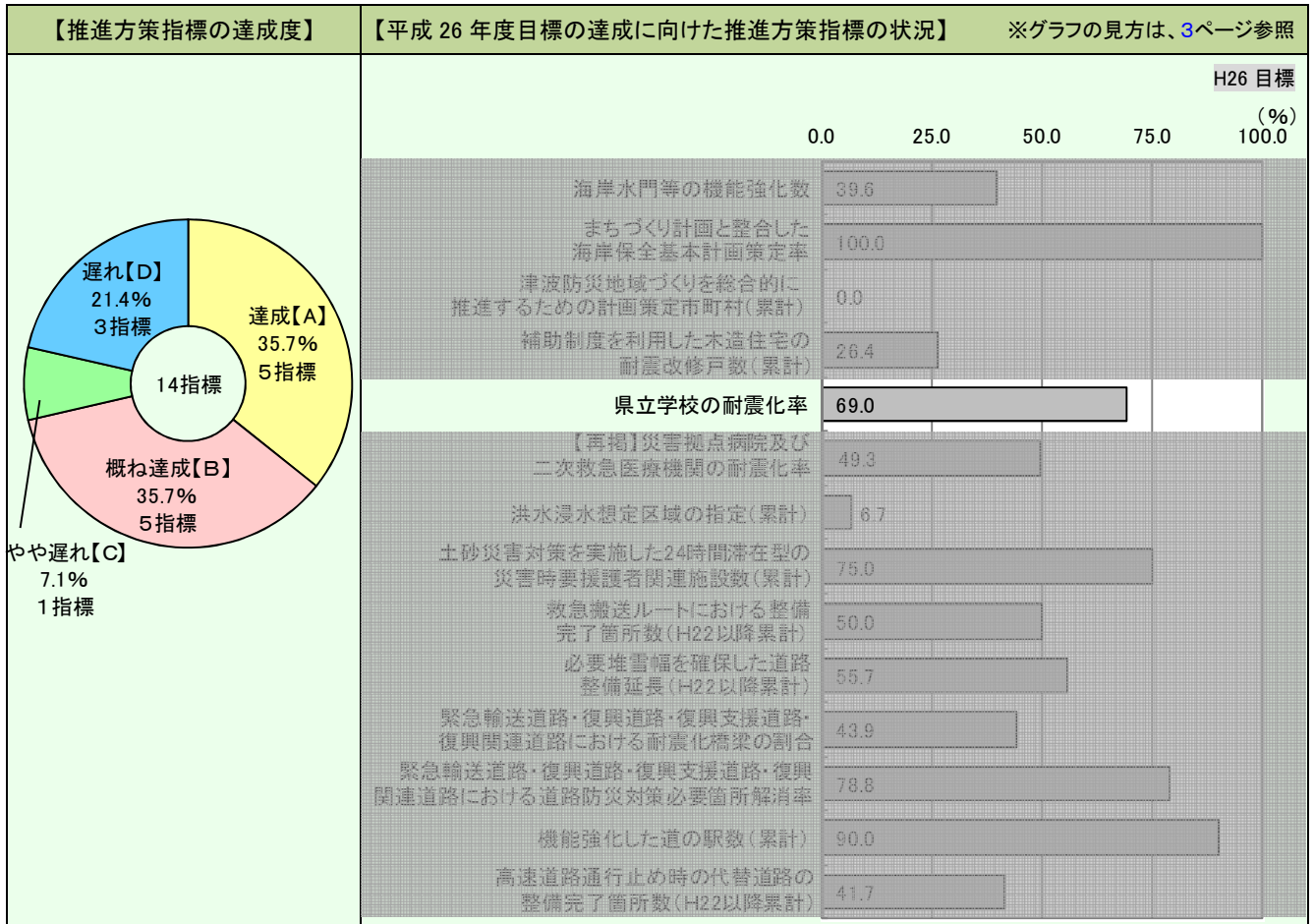
- 平成26年県民意識調査によると、「災害に強く安心して暮らせる県土」の重要度は5位、満足度は35位となり、ニーズ度は3位となっています。

【用語解説】

※1 災害時要援護者関連施設

災害時の一連の避難行動をとることに支援を要する「災害時要援護者」が利用している施設であり、老人福祉施設、病院、障害者支援施設、児童福祉施設、幼稚園等を指す。

3 目指す姿を達成するための取組（県の具体的な推進方策）



(1) 多重防災型まちづくりの推進

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値(H22)	計画目標値(H26)	年度目標値(H25)	実績値(H25)	達成度	達成度	
							(H23)	(H24)
315 海岸水門等の機能強化数	箇所	25	78	50	46	B	—	A
316 まちづくり計画と整合した海岸保全基本計画策定率	%	—	100	100	100	A	—	D
317 津波防災地域づくりを総合的に推進するための計画策定市町村(累計)	市町村	—	12	4	0	D	—	—

- 海岸水門等の機能強化数は、・・・、達成度は【○】となりました。
- まちづくり計画と整合した海岸保全基本計画策定率は、・・・、達成度は【○】となりました。
- 津波防災地域づくりを総合的に推進するための計画策定市町村は、・・・、達成度は【○】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額(千円)	活動内容指標					成果指標				
				指標名	単位	平成25年度			指標名	単位	平成25年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
		海岸高潮対策事業費【漁港漁村課】	3,608	実施地区数	地区	11	8	C	防潮堤整備延長(累計)	km	—	—	—
★		海岸事業【河川課】		防潮堤整備数	箇所	11	7	C	津波防災施設の整備率	%	42	15	D
★		三陸高潮対策事業【河川課】		河川水門・堤防整備数	箇所	12	11	B	津波防災施設の整備率	%	42	15	D

(2) 地震・洪水・土砂災害対策の推進

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H25)	実績値 (H25)	達成度	達成度	
							(H23)	(H24)
318 補助制度を利用した木造住宅の耐震改修戸数(累計)	戸	270	860	720	426	D	D	D
319 県立学校の耐震化率	%	86.0	97.3	94.6	93.8	B	C	C
320 【再掲】災害拠点病院及び二次救急医療機関の耐震化率	%	53.3	75.0	70.0	64.0	C	A	A
321 洪水浸水想定区域の指定(累計)	市町村	18	33	29	19	D	D	D
322 土砂災害対策を実施した24時間滞在型の災害時要援護者関連施設 ^{※2} 数(累計)	箇所	12	16	15	15	A	A	A

- 補助制度を利用した木造住宅の耐震改修戸数(累計)は、・・・、達成度は【○】となりました。
- 県立学校の耐震化率の達成度は【B】となりました。
- 災害拠点病院及び二次救急医療機関の耐震化率は、・・・、達成度は【○】となりました。
- 洪水浸水想定区域の指定(累計)は、・・・、達成度は【○】となりました。
- 土砂災害対策を実施した24時間滞在型の災害時要援護者関連施設数(累計)は、・・・、達成度は【○】となりました。

【用語解説】

※2 24時間滞在型の災害時要援護者関連施設

災害時要援護者が24時間利用する施設のことをいい、入院患者が滞在する病院、高齢者が入居する老人ホーム等を指す。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標					成果指標				
				指標名	単位	平成25年度			指標名	単位	平成25年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
		国土調査事業費【農村計画課】	408,808	実施市町村数	市町村	12	12	A	地籍調査進捗率	%	83.7	83.9	A
再	★	防災ダム事業費、ため池等整備事業費、土地改良施設耐震対策事業費、海岸高潮対策事業費【農村建設課】	(649,187)	実施地区数	地区	16	15	B	農地防災対策実施箇所数(累計)	箇所	406	403	B
再		治山事業費【森林保全課】	1,932,670	実施地区数	地区	58	58	A	山地災害防止機能が確保された集落数	集落	939	939	A
再	★	いわての住文化継承事業費【建築住宅課】		県民向け講習会の開催	回		1	A	耐震改修実施戸数(累計)	戸	720	581	B
				助成制度の運用に係る連絡会議の実施	回		1	A					
		建築物耐震対策促進事業費【建築住宅課】		診断義務建築物の未診断建築物への指導割合	%	100	100	A	耐震診断実施棟数(累計)	棟			
		水防警報施設整備事業費【河川課】		保守点検箇所数	箇所	26	26	A	災害時システム稼働率	%	100	100	A
		がけ崩れ危険住宅移転促進事業費【砂防災害課】		事業説明実施戸数	戸	4,800	3,850	B	新規移転合意戸数	戸	2	2	D
									移転戸数	戸	2	1	D
									問い合わせ戸数	戸	5	4	B
	★	がけ地近接危険住宅移転事業費補助【建築住宅課】							事業実施戸数	戸	4	4	A
	★	河川事業【河川課】		河川改修実績箇所	箇所	19	20	A	河川整備率	%	48.2	48.4	A
	★	河川等災害復旧事業費【砂防災害課】		災害復旧実施箇所	箇所		581		災害復旧完了箇所	箇所		581	
	★	直轄河川等災害復旧事業費負担金【砂防災害課】		直轄災害復旧実施箇所	箇所		2		直轄災害復旧完了箇所	箇所		2	
		ダム事業【河川課】		ダムの建設及び改良箇所数	箇所	4	4	A	河川整備率	%	48.2	48.4	A
	★	砂防事業【砂防災害課】		砂防事業概成箇所数	箇所	2	2	A	土砂災害危険箇所整備率(砂防)	%	8.7	8.7	A
		総合流域防災事業費【砂防災害課】		基礎調査実施箇所数	箇所	4,900	4,487	B	土砂災害警戒区域指定箇所数(累計)	箇所	2,850	3,004	A
		地すべり対策事業費【砂防災害課】		地すべり事業概成箇所数	箇所				土砂災害危険箇所整備率(地すべり)	%	8.9	8.9	A
	★	急傾斜地崩壊対策事業【砂防災害課】		急傾斜地崩壊対策事業概成箇所数	箇所	3	2	C	土砂災害危険箇所整備率(急傾斜)	%	15.2	15.2	A
		校舎大規模改修事業費(校舎大規模改修事業)【教育企画室】	79,438	学校施設の耐震化	箇所	6	5	B	県立学校の耐震化率	%	94.6	93.8	B
		校舎大規模改修事業費(屋内運動場大規模改修事業)【教育企画室】	20,245	学校施設の耐震化	箇所	4	3	C	県立学校の耐震化率	%	94.6	93.8	B
		校舎大規模改修事業費(産業教育施設大規模改修事業)【教育企画室】	2,625	学校施設の耐震化	箇所	1	1	A	県立学校の耐震化率	%	94.6	93.8	B
	★	学校施設災害復旧事業費【教育企画室】	165,329	県立学校施設の災害復旧	箇所	1	1	A	復旧完了施設数	箇所	1	1	A
	★	学校施設災害復旧事業費(県立高田高等学校災害復旧事業)【教育企画室】	388,795	県立学校施設の災害復旧	箇所	1	1	A	復旧完了施設数	箇所	1	1	A

(3) 日常生活を支える安全な道づくりの推進

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H25)	実績値 (H25)	達成度	達成度	
							(H23)	(H24)
323 救急搬送ルートにおける整備完了箇所数 (H22以降累計)	箇所	1	9	6	5	B	—	A
324 必要堆雪幅を確保した道路整備延長(H22以降累計)	km	12.5	91.9	50.1	56.7	A	A	A

- 救急搬送ルートにおける整備完了箇所数(H22以降累計)は、・・・・・・、達成度は【○】となりました。
- 必要堆雪幅を確保した道路整備延長(H22以降累計)は、・・・・・・、達成度は【○】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標					成果指標				
				指標名	単位	平成25年度			指標名	単位	平成25年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
西		地域連携道路整備事業費【道路建設課、道路環境課】		救急搬送ルートにおける整備完了箇所数	箇所	9	0	D	救急搬送ルートにおける整備完了箇所数(H22以降累計)	箇所	6	5	B
				必要堆雪幅を確保した道路の整備完了箇所数(一部供用を含む)	箇所	5	4	B	必要堆雪幅を確保した道路整備延長(H22以降累計)	km	50.1	56.7	A
西		物流支援交流促進道路整備事業費【道路建設課】		救急搬送ルートにおける整備完了箇所数	箇所	3	0	D	救急搬送ルートにおける整備完了箇所数(H22以降累計)	箇所	6	5	B
				必要堆雪幅を確保した道路の整備完了箇所数(一部供用を含む)	箇所	5	4	B	必要堆雪幅を確保した道路整備延長(H22以降累計)	km	50.1	56.7	A
西		地方特定道路整備事業費【道路建設課、道路環境課】		必要堆雪幅を確保した道路の整備完了箇所数(一部供用を含む)	箇所	5	4	B	必要堆雪幅を確保した道路整備延長(H22以降累計)	km	50.1	56.7	A
西		地域道路整備事業費【道路建設課】		必要堆雪幅を確保した道路の整備完了箇所数(一部供用を含む)	箇所	5	4	B	必要堆雪幅を確保した道路整備延長(H22以降累計)	km	50.1	56.7	A
		道路環境改善事業費【道路環境課】		通学路(小学校)における歩道設置延長	km	7.0	2.4	D	通学路(小学校)における歩道設置率	%	75.0	74.6	B
				必要堆雪幅を確保した道路の整備完了箇所数(一部供用を含む)	箇所	5	4	B	必要堆雪幅を確保した道路整備延長(H22以降累計)	km	50.1	56.7	A
		県単独自雪害対策事業費【道路環境課】		必要堆雪幅を確保した道路の整備完了箇所数(一部供用を含む)	箇所	5	4	B	必要堆雪幅を確保した道路整備延長(H22以降累計)	km	50.1	56.7	A
		県単独自交通安全施設整備事業費【道路環境課】		通学路(小学校)における歩道設置延長	km	7.0	2.4	D	通学路(小学校)における歩道設置率	%	75.0	74.6	B

(4) 信頼性の高い道路ネットワークの確立

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H25)	実績値 (H25)	達成度	達成度	
							(H23)	(H24)
325 緊急輸送道路・復興道路・復興支援道路・復興関連道路における耐震化橋梁の割合	%	56.9	70.1	63.8	62.7	B	A	A
326 緊急輸送道路・復興道路・復興支援道路・復興関連道路における道路防災対策必要箇所解消率	%	24	57	50	50.0	A	A	A
327 機能強化した道の駅数(累計)	駅	0	20	20	18	B	—	A
328 高速道路通行止め時の代替道路の整備完了箇所数(H22以降累計)	箇所	1	13	6	6	A	A	A

- 緊急輸送道路等における耐震化橋梁の割合は、・・・・・・、達成度は【○】となりました。
- 緊急輸送道路等における道路防災対策必要箇所解消率は、・・・・・・、達成度は【○】となりました。
- 機能強化した道の駅数(累計)は、・・・・・・、達成度は【○】となりました。
- 高速道路通行止め時の代替道路の整備完了箇所数(H22以降累計)は、・・・・・・、達成度は【○】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標					成果指標				
				指標名	単位	平成25年度			指標名	単位	平成25年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
再		地域連携道路整備事業費【道路建設課、道路環境課】		高速道路通行止め時の代替道路の整備完了箇所数	箇所	2	2	A	高速道路通行止め時の代替道路の整備完了箇所数(H22以降累計)	箇所	6	6	A
再	★	地方特定道路整備事業費【道路建設課、道路環境課】		高速道路通行止め時の代替道路の整備完了箇所数	箇所	2	2	A	高速道路通行止め時の代替道路の整備完了箇所数(H22以降累計)	箇所	6	6	A
				緊急輸送道路、復興道路等における道路防災対策完了箇所数	箇所	20	19	B	緊急輸送道路、復興道路等における道路防災対策必要箇所解消率	%	50	50	A
再		地域道路整備事業費【道路建設課】		高速道路通行止め時の代替道路の整備完了箇所数	箇所	2	2	A	高速道路通行止め時の代替道路の整備完了箇所数(H22以降累計)	箇所	6	6	A
再	★	道路環境改善事業費【道路環境課】		緊急輸送道路、復興道路等における耐震化完了橋梁数	橋	15	10	C	緊急輸送道路、復興道路等における耐震化橋梁の割合	%	63.8	62.7	B
				緊急輸送道路、復興道路等における道路防災対策完了箇所数	箇所	20	19	B	緊急輸送道路、復興道路等における道路防災対策必要箇所解消率	%	50	50	A
				機能強化実施道の駅数	駅	20	18	B	機能強化した道の駅数	駅	20	18	B
	★	県単独橋りょう補強事業費【道路環境課】		緊急輸送道路、復興道路等における耐震化完了橋梁数	橋	15	10	C	緊急輸送道路、復興道路等における耐震化橋梁の割合	%	63.8	62.7	B
	★	県単独道路災害防除事業費【道路環境課】		緊急輸送道路、復興道路等における道路防災対策完了箇所数	箇所	20	19	B	緊急輸送道路、復興道路等における道路防災対策必要箇所解消率	%	50.0	50.0	A